

参考データ集

国際石油開発帝石株式会社

2017年(平成29年)5月15日

連結子会社および持分法適用関連会社 **INPEX**

連結子会社 64社

主な連結子会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
ジャパン石油開発	アラブ首長国連邦	100%	生産中	3月(仮決算)
JODCO Onshore Ltd.	アラブ首長国連邦	51%	生産中	12月
サウル石油	チモール海・共同開発地域	100%	生産中	12月
INPEX Ichthys Pty Ltd	オーストラリア	100%	開発中	3月(仮決算)
インベックス南西カスピ海石油	アゼルバイジャン	51%	生産中	3月(仮決算)
インベックス北カスピ海石油	カザフスタン	45%	生産中	3月(仮決算)
INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	オーストラリア	100%	開発中	12月
INPEX Gas British Columbia Ltd.	カナダ	45.09%	生産中/評価中	12月

持分法適用関連会社 20社

主な持分法適用関連会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
MI Berau B.V.	インドネシア	44%	生産中	12月
Angola Block 14 B.V.	アンゴラ	49.99%	生産中	12月
インベックス北カンボス沖石油	ブラジル	37.5%	生産中	12月
Ichthys LNG Pty Ltd	オーストラリア	62.245%	開発中	3月(仮決算)

セグメント情報

INPEX

2017年3月期(2016年4月1日～2017年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア (欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計	調整額 (注1)	連結財務諸表計上額(注2)
売上高	102,659	218,099	60,191	482,182	11,290	874,423	—	874,423
セグメント利益又は損失(△)	18,033	51,565	12,112	276,870	△9,360	349,221	△12,769	336,452

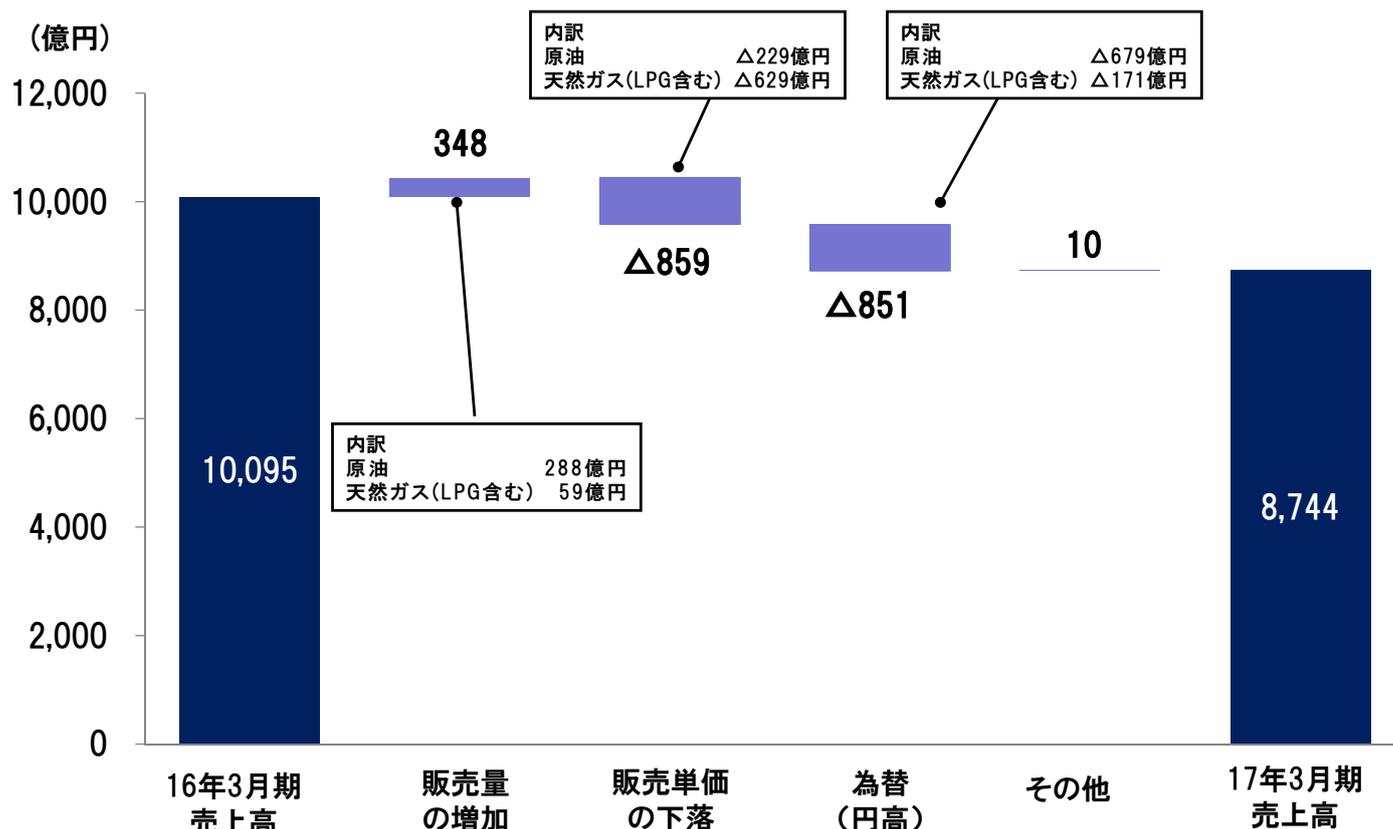
セグメント資産	320,852	1,997,494	600,854	446,791	137,119	3,503,111	809,062	4,312,174
---------	---------	-----------	---------	---------	---------	-----------	---------	-----------

- (注)1 (1)セグメント利益の調整額△12,769百万円は、セグメント間取引消去13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△12,782百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。
- (2)セグメント資産の調整額809,062百万円は、セグメント間取引消去△2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産809,064百万円が含まれております。全社資産の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれん、現金預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2

2017年3月期 売上高 増減要因分析

INPEX



3

LPG売上高

	16年3月期	17年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	105	67	△37	△35.8%
販売量 (千bbl)	2,361	1,860	△501	△21.2%
海外生産分平均単価 (\$/bbl)	36.97	33.93	△3.04	△8.2%
国内生産分平均単価 (¥/kg)	66.34	56.51	△9.83	△14.8%
平均為替 (¥/\$)	120.79	107.34	13円45銭円高	11.1%円高

地域別販売量 (千bbl)	16年3月期	17年3月期	増減	増減率
日本	7 (0.6千ト)	5 (0.5千ト)	△1 (△0.1千ト)	△20.6%
アジア・オセアニア	2,354	1,855	△500	△21.2%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	-	-	-	-
合計	2,361	1,860	△501	△21.2%

4

利払い・償却・探鉱費前利益(EBIDAX)

(百万円)	16年3月期	17年3月期	増減	備考
親会社株主に帰属する純利益	16,777	46,168	29,391	P/L
非支配株主に帰属する純損益	△42,282	9,963	52,245	P/L
減価償却相当額	157,750	177,792	20,042	
減価償却費	86,791	91,159	4,368	C/F コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
のれん償却額	6,760	6,760	-	C/F
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	64,199	79,873	15,674	C/F PS契約に係る減価償却費相当額
探鉱費相当額	31,527	21,108	△10,419	
探鉱費	6,166	6,734	568	P/L コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金繰入額	25,026	14,374	△10,652	P/L PS契約に係る探鉱費相当額等
探鉱事業引当金繰入額	335	-	△335	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
重要な非現金項目	58,777	△21,965	△80,742	
法人税等調整額	△2,192	△33,227	△31,035	P/L
為替差損益	15,085	4,896	△10,189	C/F
減損損失	45,884	6,366	△39,518	P/L
税引後ネット支払利息	△4,653	△3,767	886	P/L 税引後の支払利息一受取利息
EBIDAX	217,896	229,299	11,403	

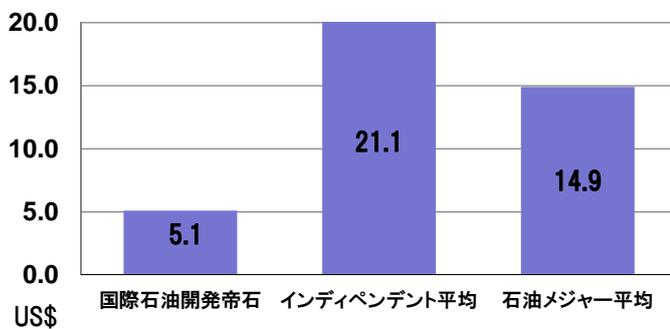
5

生産物回収勘定の増減推移

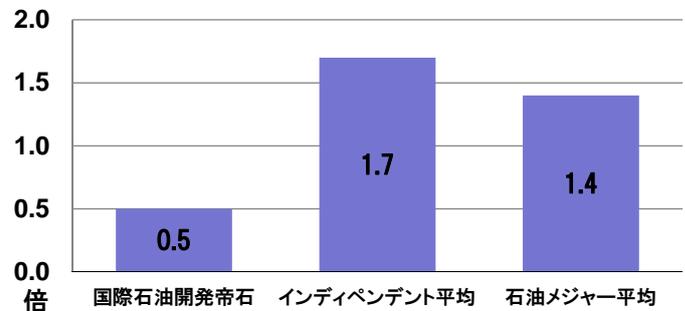
(百万円)	15年3月期	16年3月期	17年3月期
生産物回収勘定(期首)	685,990	703,291	727,771
増加:			
探鉱投資	41,236	30,969	9,461
開発投資	131,984	104,518	39,928
操業費	98,250	70,365	55,514
その他	7,331	9,745	6,969
減少:			
コスト回収(CAPEX)	75,585	64,199	79,873
コスト回収(Non-CAPEX)	146,929	107,133	73,414
その他	38,986	19,785	27,156
生産物回収勘定(期末)	703,291	727,771	659,201
生産物回収勘定引当金	121,707	131,765	120,543

当社Valuation指標

EV/確認埋蔵量*



PBR**



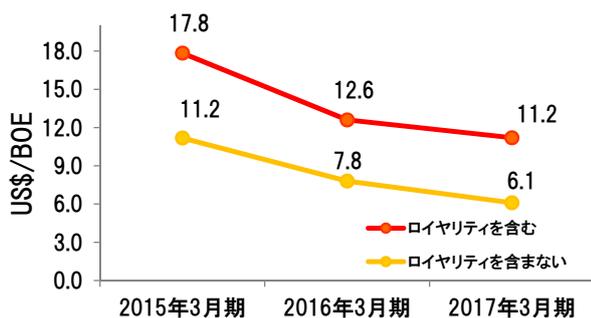
* EV(企業総価値)/確認埋蔵量 = (時価総額 + 総有利子負債 - 預金及び現金同等物 + 非支配株主持分) / 確認埋蔵量。時価総額は2017年3月末時点、財務数値及び確認埋蔵量は、当社は2017年3月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2016年12月末時点数値を使用。財務数値、確認埋蔵量は各社開示資料より。

** PBR = 株価 / 一株当たり純資産。時価総額は2017年3月末時点、財務数値は当社は2017年3月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2016年12月末時点数値を使用。財務数値は各社開示資料より。

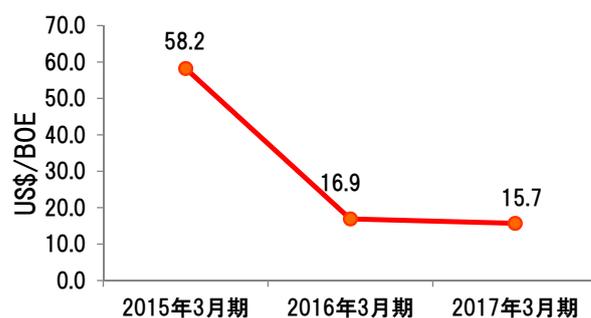
埋蔵量・生産量指標

INPEX

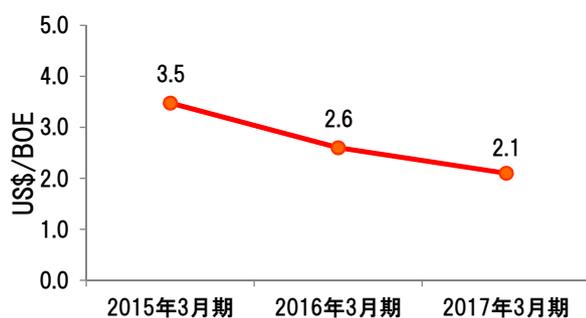
原油換算1バレル当たりの生産コスト



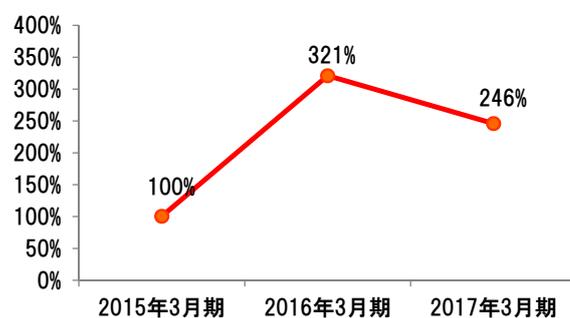
原油換算1バレル当たりの探鉱・開発コスト(3年平均)



原油換算1バレル当たりの販売費及び一般管理費



リザーブリプレースメントレシオ(3年平均)

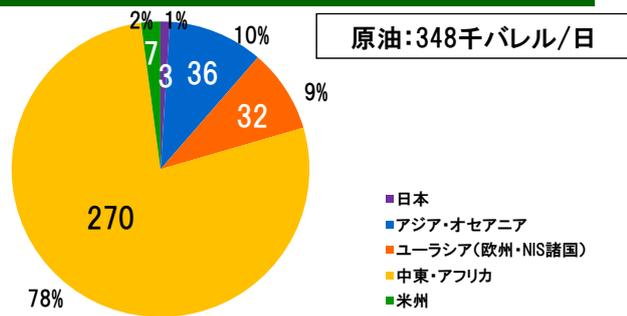


8

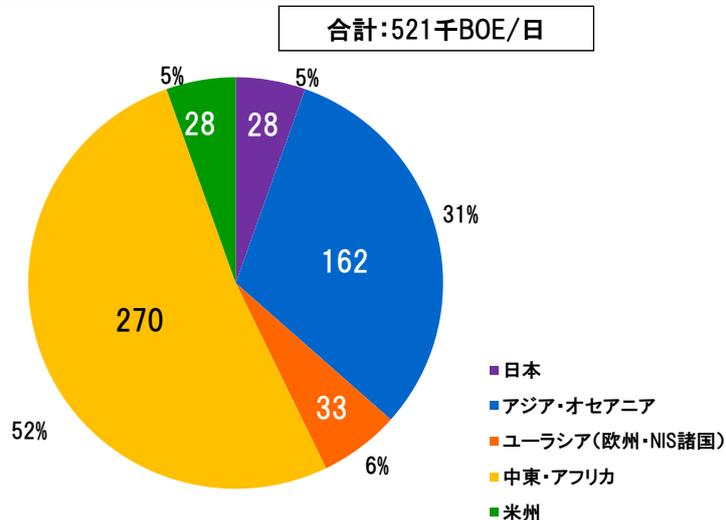
生産量*(2016年4月-2017年3月)

INPEX

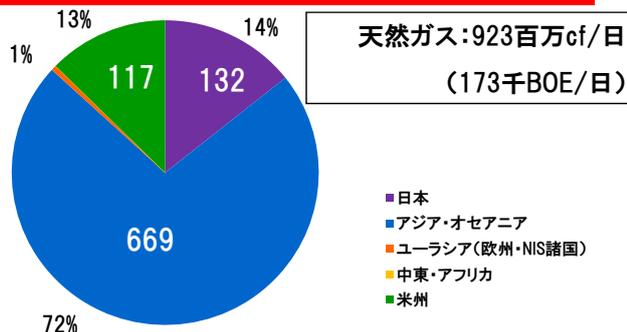
原油・コンデンセート・LPG



原油・天然ガス合計

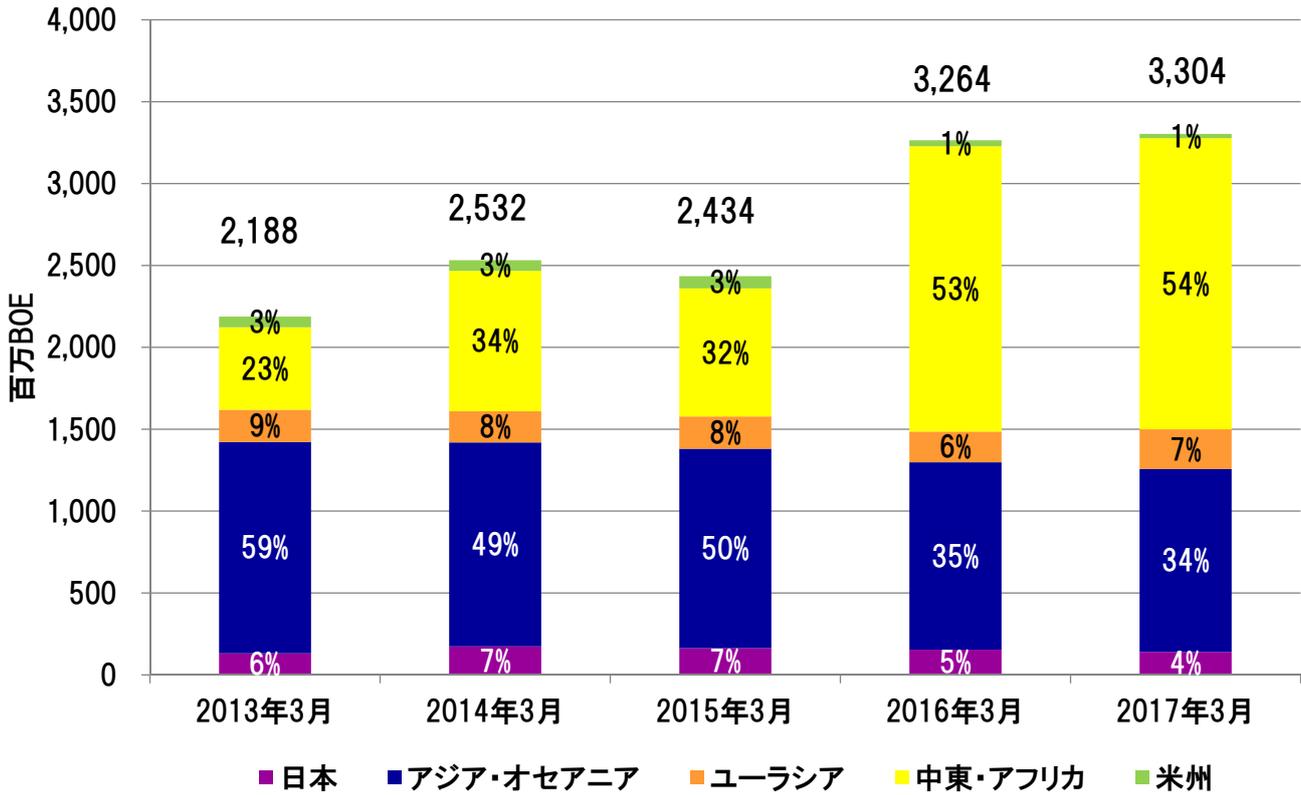


天然ガス



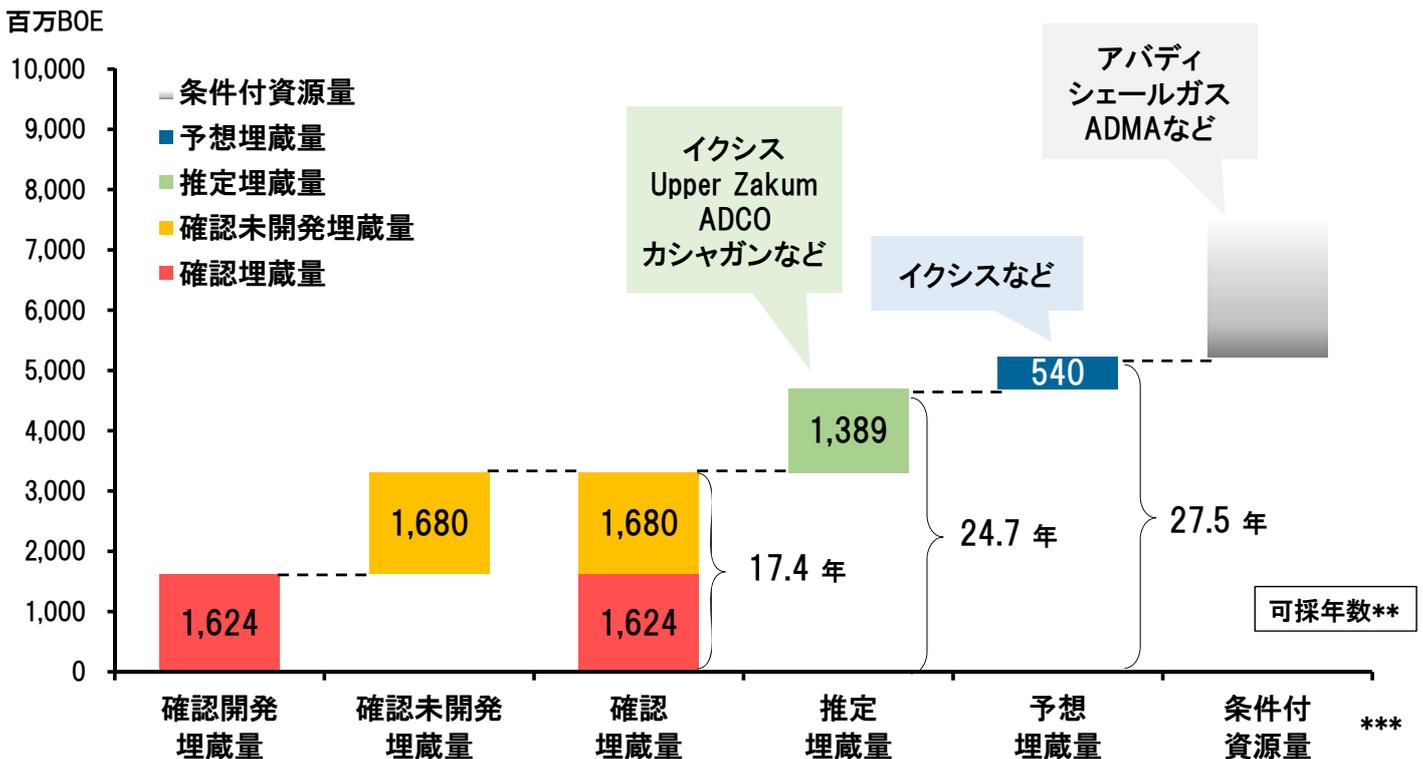
9

* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。



* 確認埋蔵量の定義は、51ページに記載しております。

確認・推定・予想埋蔵量*による
アップサイドポテンシャル



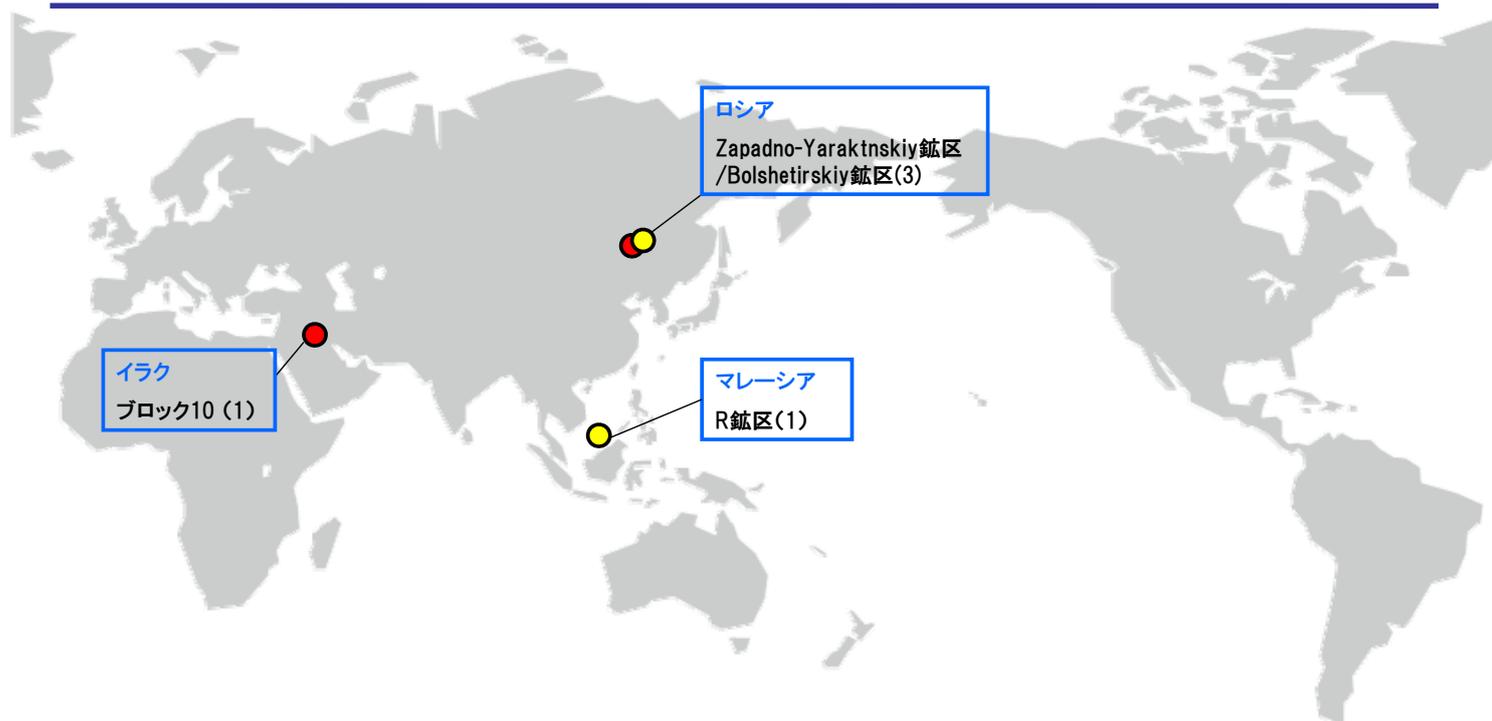
* 確認埋蔵量及び推定・予想埋蔵量の定義は、51、52ページに記載しております。

** 可採年数=2017年3月末「確認埋蔵量」、「推定埋蔵量」、「予想埋蔵量」/2017年3月期生産量実績

*** 条件付資源量は当社による推定値です。SPE-PRMSの基準によれば、潜在的に回収可能と見込まれる炭化水素量の推定値ですが、現段階では諸条件により経済的に回収可能であると判断することができない資源量を指します。

プロジェクト参考データ

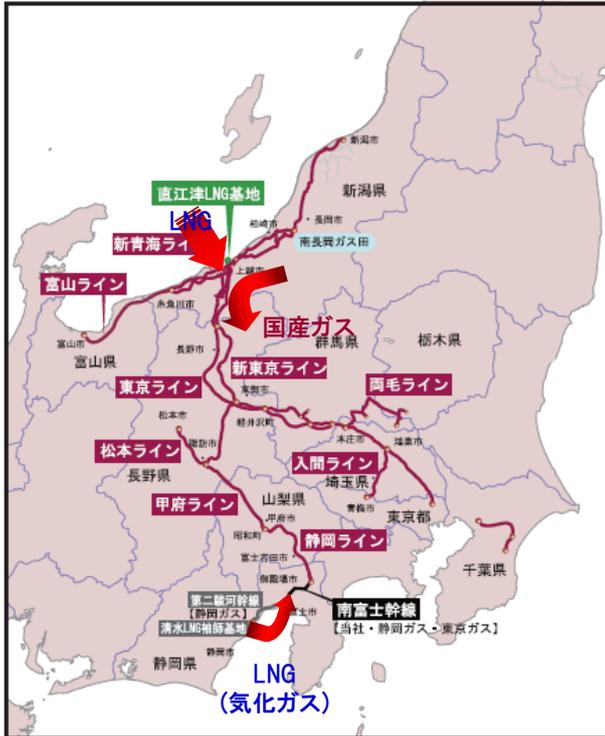
2018年3月期 探鉱計画*



* ()内の数字は掘削坑井数

- 試掘井
- 探掘井

	探鉱投資額 (億円)	試掘井 (坑)	探掘井 (坑)	2D震探 (km)	3D震探 (km ²)
2017年3月期(実績)	161	4	3	406	2,328
2018年3月期(予想)	80	3	2	342	300

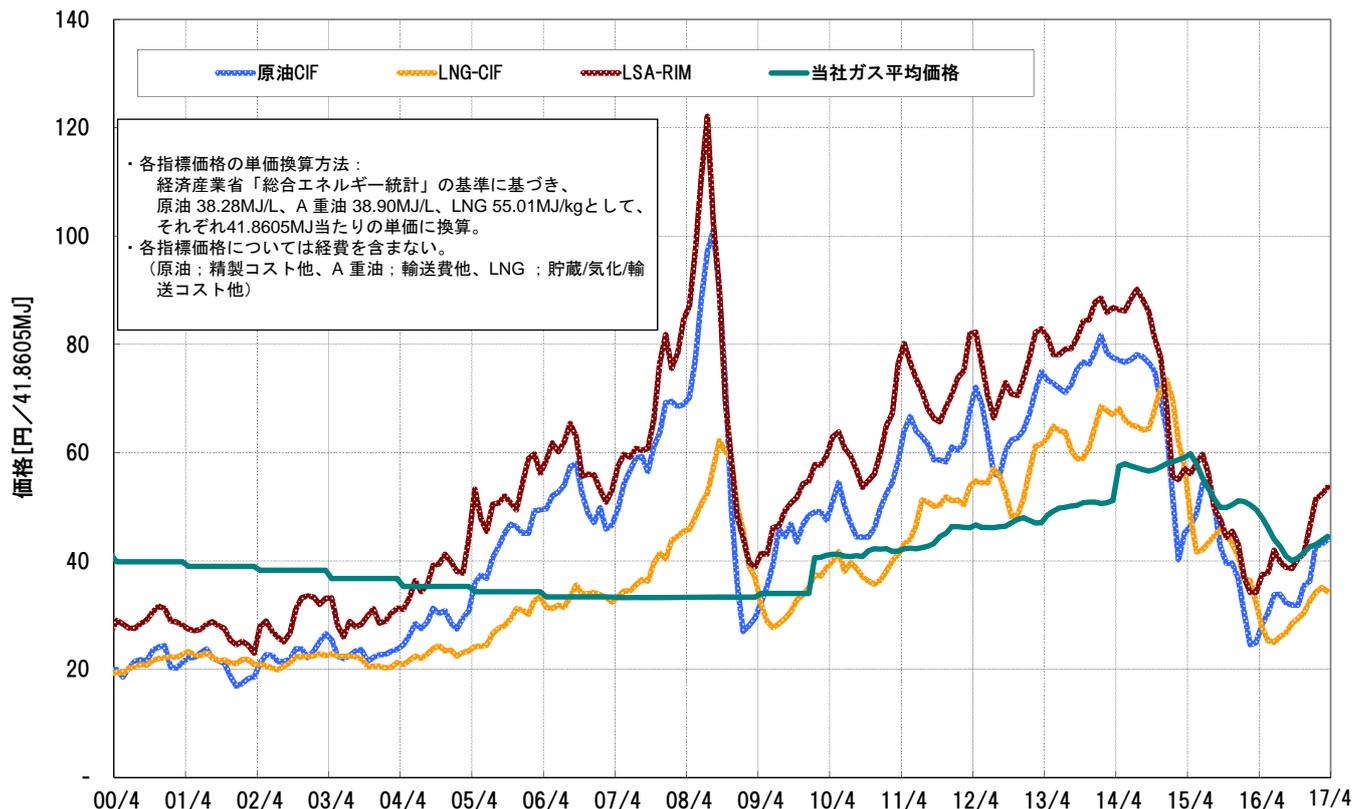


- 生産量*
 - ・天然ガス：約3.5百万m³/日 (132百万立方フィート/日)**
 - ・原油・コンデンサート：約4千バレル/日
- 天然ガス販売状況
 - ・2017年3月期販売量：19.1億m³**
 - ・2018年3月期販売量見通し：21.2億m³**
 - ・2020年代前半に25億m³、長期的に年間30億m³の供給見通し
- ガスサプライチェーンの構築
 - ・2013年12月、直江津LNG基地の商業運転開始
 - ・2016年6月、富山ライン完成

* 国内油田・ガス田の合計(2017年3月期平均日産量)
 ** 1m³当たり41.8605MJ換算

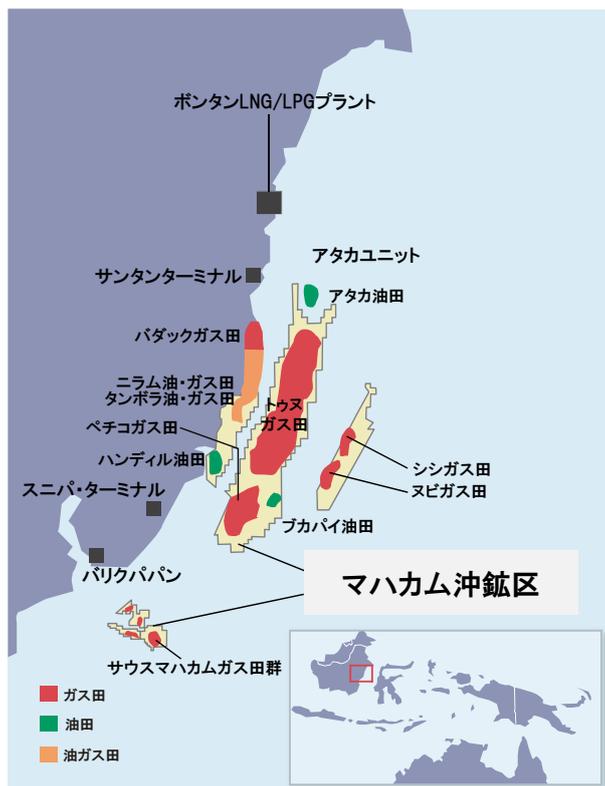
国内天然ガス価格

単位あたりの価格の比較



マハカム沖鉱区 国際石油開発帝石

INPEX



* 全鉱区ベース、2017年3月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

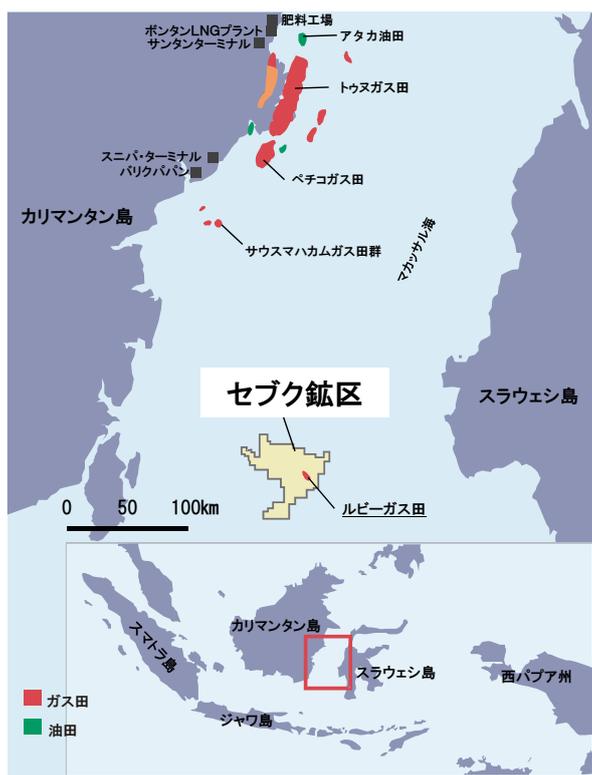
18

- 当社権益比率: 50%
(オペレーター: TOTAL)
- 生産量*
 - ・原油・コンデンセート: 日量約5.3万バレル
 - ・LPG: 日量約1.1万バレル
 - ・天然ガス**: 日量約1,176百万立方フィート
- PS契約: 2017年まで
- ボントンLNG基地へのガス安定供給を目的として主力ガス田であるトゥヌ/ペチコ/シシ/ヌビ/サウスマハカムガス田を中心とした段階的開発作業を継続
- 2012年4月、西ジャワ洋上LNG受入基地へLNG供給開始
- 2012年10月末、サウスマハカムガス田より生産開始
- 2017年3月、操業移管に関する諸契約を締結
- 2018年以降(現行の生産分与契約失効後)の同鉱区への参加に向けて、PertaminaおよびTOTALと協議中

セブク鉱区(ルビーガス田)

インペックス南マカッサル石油

INPEX



* 全鉱区ベース、2017年3月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

19

- 当社権益比率: 15%
(オペレーター: PEARLOIL (Mubadala))
- 生産量*
 - 天然ガス**: 日量約110百万立方フィート
- PS契約: 2027年まで
- 2010年8月、オペレーターであるPEARLOILと締結した権益譲渡契約のインドネシア政府承認を取得(当社15%権益取得)
- 2011年6月、開発移行決定
- 海上生産施設よりマハカム沖鉱区既存陸上施設へ海底パイプラインにより繋ぎ込み
- 生産ガスの大部分をインドネシア国内肥料工場向けに供給
- 2013年10月、生産開始

ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト) MI Berau B.V./MIベラウジャパン

INPEX



* 全鉱区ベース、2017年3月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

20

-MI Berau/MIベラウジャパン*:
三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)

*MIベラウジャパンはケージーベラウ石油開発に約16.5%出資

-権益比率:

・MI Berau: タンゲー・ユニット 16.3%

・ケージーベラウ石油開発: タンゲー・ユニット
8.56%

(オペレーター:BP)

-生産量*

・コンデンセート: 日量約6千バレル

・天然ガス**:
日量約1,048百万立方フィート

-PS契約: 2035年まで

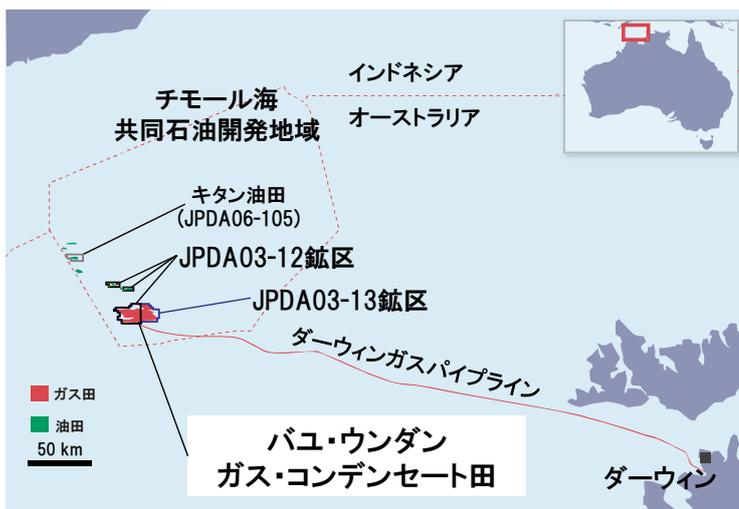
-LNG生産量: 年間760万トン

-2009年7月、LNG販売開始

2016年7月、拡張プロジェクト(年間380万トンの生産能力を有する第三液化系列を増設)の最終投資決定

バユ・ウندان ガス・コンデンセート田(JPDA03-12/03-13鉱区) サウル石油

INPEX



- 当社権益比率: 11.378120%
(オペレーター: ConocoPhillips)

- 生産量*

・コンデンセート: 日量約1.8万バレル

・LPG: 日量約1.1万バレル

・天然ガス**:
日量約555百万立方フィート

- PS契約: 2022年まで

- 2004年2月、コンデンセート/LPG販売開始

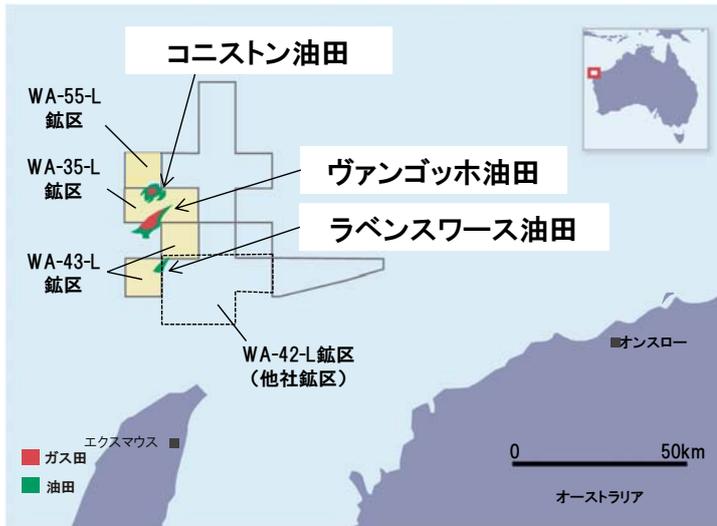
- 2005年8月、東京電力(現JERA)/東京ガスとLNG販売契約締結(2006年から17年間、年間300万トン)

- 2006年2月、LNG販売開始

* 全鉱区ベース、2017年3月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

21



ヴァンゴッホ油田(WA-35-L)/コニストン油田 (WA-35-LおよびWA-55-L 鉱区)

- 当社権益比率: 47.499%
(オペレーター: Quadrant Energy)
- 利権契約(2008年10月生産ライセンス取得)
- 生産量*: 原油: 日量約9千バレル
- 2010年2月、ヴァンゴッホ油田にて原油生産開始
- 2015年5月、コニストン油田にて原油生産開始
- 2016年7月、コニストン油田ノバラ構造にて原油生産開始

ラベンスワース油田(WA-43-L 鉱区)

- 当社権益比率: 28.5%
(オペレーター: BHPBP)
- 生産量*: 原油: 日量約6千バレル
- 利権契約(2009年11月生産ライセンス取得)
- 隣接するWA-42-L 鉱区との生産施設への繋ぎ込みによる開発
- 2010年8月、生産開始

* 全鉱区ベース、2017年3月平均日産量

イクシスLNGプロジェクト 概要

- マーケティング:

- ✓ LNG: 年産840万トン分売買契約締結済
- ✓ LPG: 当社分全量の販売の基本合意済

- 主要許認可:

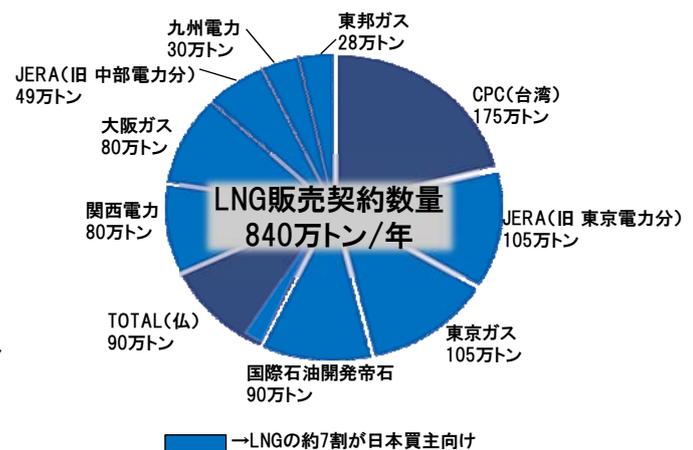
- ✓ 環境、ガス輸送パイプラインのライセンス、生産ライセンス等全て取得済

- ファイナンス:

- ✓ 2012年12月、総額200億米ドルのプロジェクトファイナンスに係る融資関連契約に調印

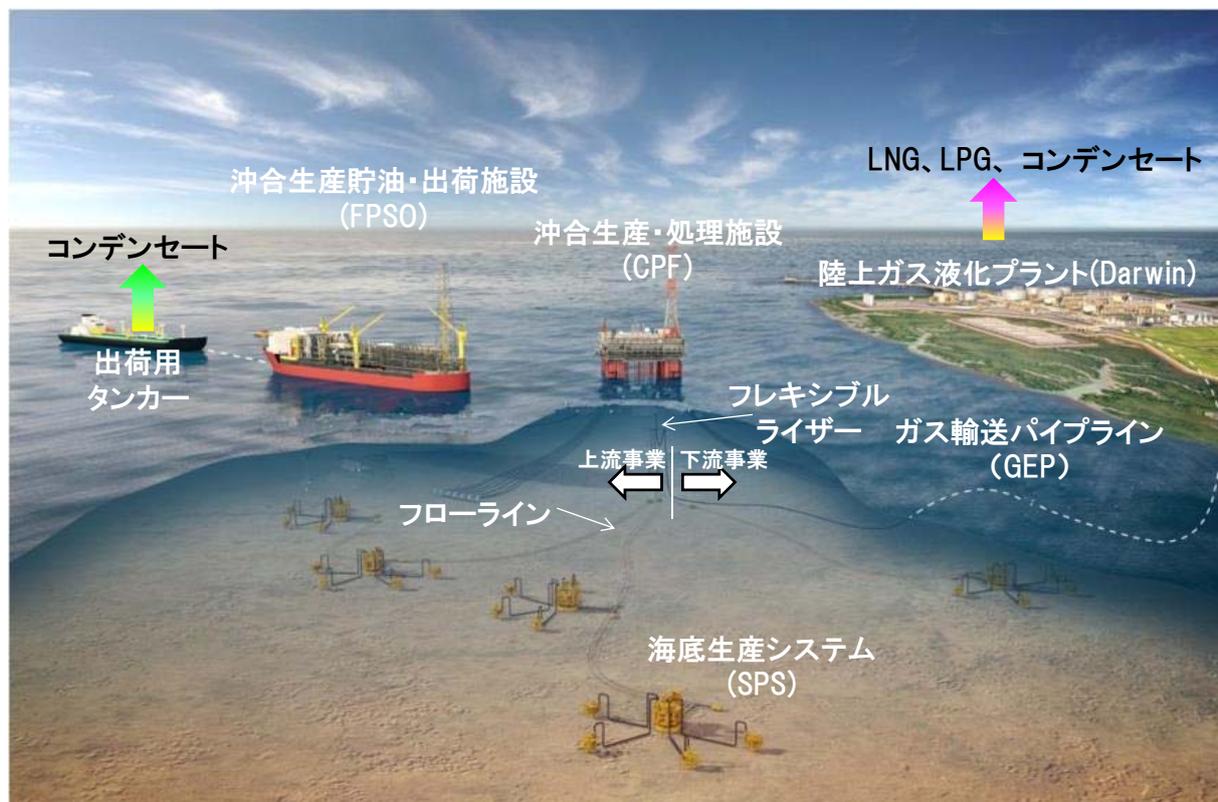
- 開発作業: 主要EPC契約締結済

- 上流事業**
- 沖合生産・処理施設(GPF): Samsung Heavy Industries(韓)
 - 沖合生産貯油・出荷施設(FPSO): Daewoo Shipbuilding & Marine Engineering(韓)
 - 海底生産システム(SPS): GE Oil & Gas(米)
 - フローライン、フレキシブルライザーなどの接続作業等: McDermott(米)
- 下流事業**
- 陸上LNGプラント: 日揮、千代田化工、KBR社(米)の企業連合
 - ガス輸送パイプライン(GEP): Saipem(伊)・三井物産・住友商事・メタルワン
 - ダーウィン湾内浚渫作業: Van Oord(蘭)
 - 計装・制御システム: 横河電機(上流施設も含む)



イクシスLNGプロジェクト 開発コンセプト

INPEX



24

イクシスLNGプロジェクト 生産井テストの様子

INPEX



25

イクシスLNGプロジェクト 沖合施設の進捗

INPEX



試運転作業中のFPSO
(2017年3月、韓国)

26

イクシスLNGプロジェクト 陸上施設の進捗①

INPEX



発電施設の建設
(2017年4月、ダーウィン)

27

イクシスLNGプロジェクト 陸上施設の進捗②

INPEX

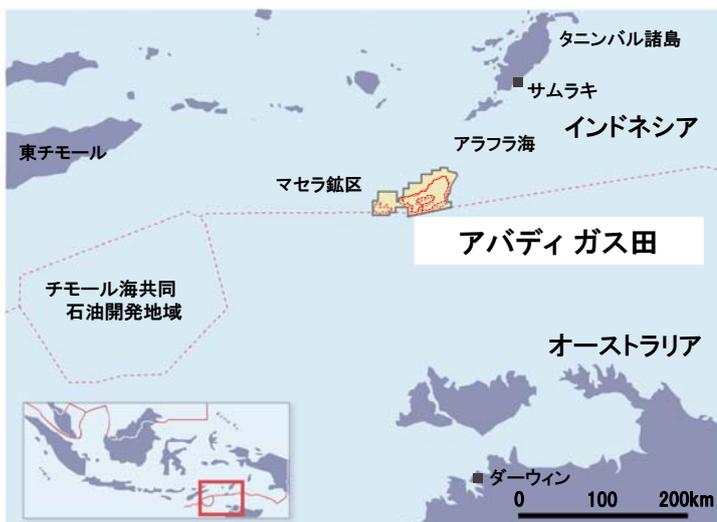


製品出荷棧橋の様子
(2017年4月、ダーウィン)

28

アバディLNGプロジェクト

INPEX



- 2016年4月、インドネシア政府当局より陸上LNGによる開発計画の再検討を求める内容の通知を受領
- 早期のプロジェクトの実現を目指し、Pre-FEED作業開始を視野に入れながら、アバディガス田の最適開発について政府当局と前向きな協議を実施中
- Shellとの戦略的パートナーリング
 - Shellによる技術・人的支援の有効活用
- 生産分与契約に基づき10%の参加権益をインドネシア政府の指定するインドネシア企業に譲渡する予定
- PS契約: 2028年まで

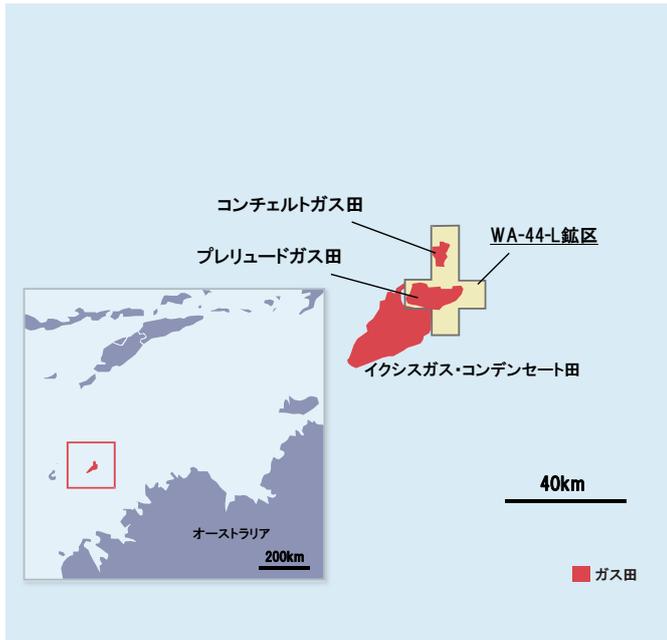
- 権益比率
-当社(オペレーター)65%、Shell35%
- 開発準備中

29

プレリウドFLNGプロジェクト

INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd

INPEX



- 権益比率: 17.5%(オペレーター: Shell)
- 埋蔵量: 天然ガス約3兆cf (プレリウドガス田およびコンチェルトガス田)
- 生産量:
 - ・LNG 年間360万トン
 - ・LPG 年間約40万トン
 - ・コンデンセート 日量約3.6万バレル(ピーク時)
- 2011年5月に最終投資決定
- 2007年初めのプレリウドガス田発見からおよそ10年での生産開始を目標。本格的なキャッシュインは2018年を予定。
- 当社権益相当分年間約63万トンのLNGの売買(2017年から8年間)について、JERA(年間約56万トン)、静岡ガス(年間約7万トン)それぞれと合意

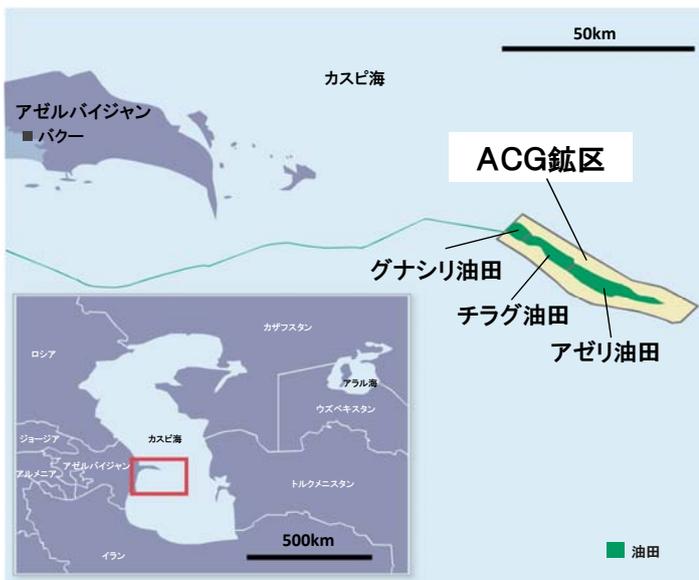


30 FLNG船

ACG油田

インペックス南西カスピ海石油

INPEX

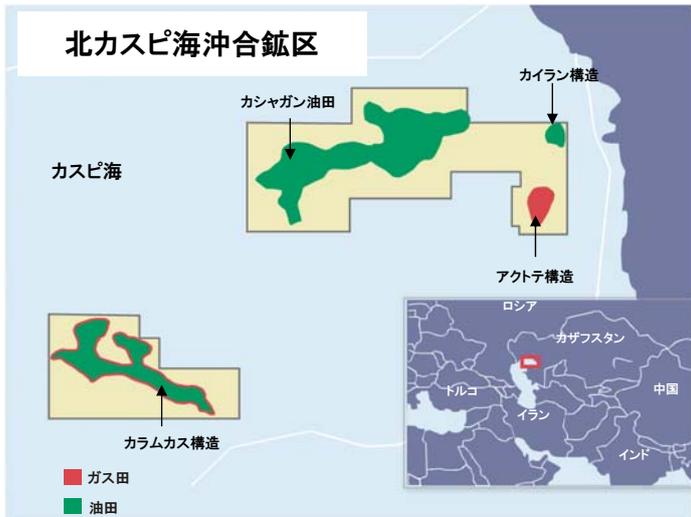


- 当社権益比率: 10.9644%(オペレーター: BP)
- 生産量*: 日量約63.0万バレル
- PS契約: 2024年まで
- チラグ油田1997年生産開始
- フェーズ1: アゼリ油田中央部2005年2月に生産開始
- フェーズ2: アゼリ油田西部2005年12月に生産開始、アゼリ油田東部2006年10月に生産開始
- フェーズ3: グナシリ油田深海部2008年4月に生産開始
- 2014年1月、チラグ油田西部(チラグ・オイル・プロジェクト)にて生産開始

* 全鉱区ベース、2016年平均日産量

カシャガン油田ほか インペックス北カスピ海石油

INPEX



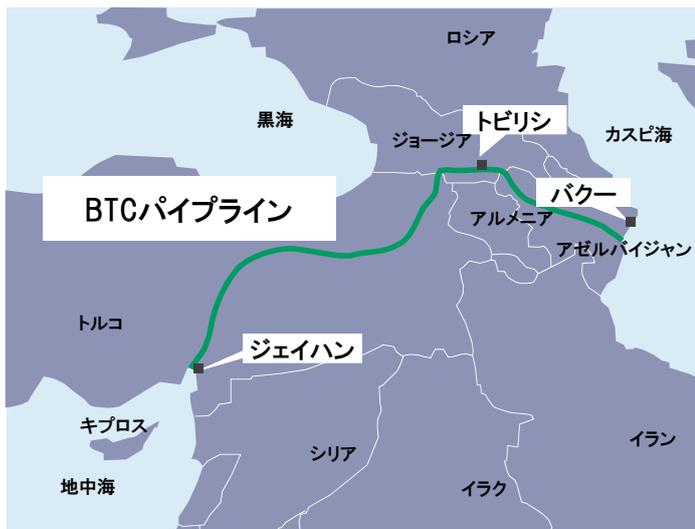
- 当社権益比率: 7.56%(オペレーター: NCOC(North Caspian Operating Company))
- PS契約: カシャガン油田 - 2021年末まで*
- 原油生産量: 2017年2月、生産量はキャパシティである18万BDまでランプ・アップ。Phase 1では2017年末までに生産能力37万BDの達成を見込む。
- カシャガン油田では、2013年9月の生産開始後に起こったパイプラインからのガスリークにより、同年10月より生産を停止。復旧作業を完了し、2016年9月に生産を再開、10月に原油出荷を開始
- カラムカス構造は隣接鉱区との共同開発の可能性を検討中
- アクトテ/カイランの2構造の評価作業を実施中

*現行のPSA条件にて10年×2回の延長(2041年まで)が可能

32

BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト INPEX BTC Pipeline, Ltd.

INPEX



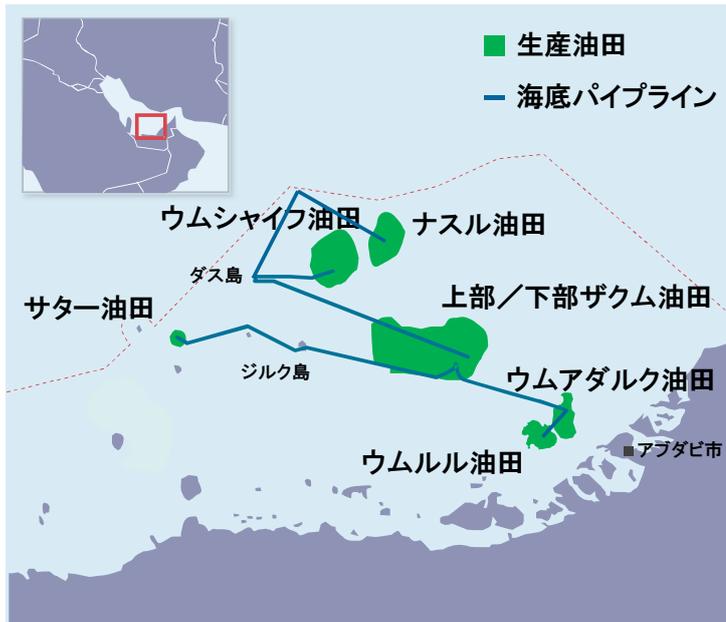
- 当社権益比率:2.5%(オペレーター:BP)
- 2002年10月、当社、参加権益2.5%取得
- 2006年6月、ジェイハンターミナルから原油出荷開始
- 2009年3月、輸送能力日量120万バレルまでの拡張作業を完了
- 2010年9月13日、累計10億バレル出荷を達成
- 2014年8月11日、累計20億バレル出荷を達成

33

ADMA鉦区

ジャパン石油開発(JODCO)

INPEX



-ウムシャイフ/下部ザクム/ウムルル/ナスル油田

・当社権益比率: 12.0%(オペレーター: ADMA-OPCO*)

-上部ザクム/ウムアダルク/サター油田

・当社権益比率:
上部ザクム/ウムアダルク 12.0%
サター 40.0%(オペレーター: ZADCO*)

*権益保有者が株主である操業会社。JODCOから両社へそれぞれ12%を出資。

-利権契約: 2018年まで(但し、上部ザクム油田は2041年まで)

-生産量維持・拡大のため開発作業を継続中

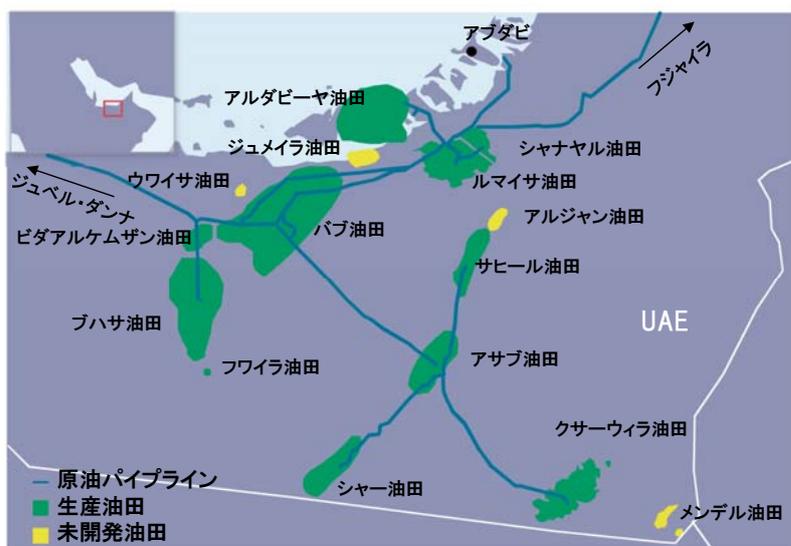
・ウムルル油田・ナスル油田の全体開発計画に基づく作業実施中

・上部ザクム油田の人工島を利用した再開発計画に基づく作業実施中

ADCO鉦区

JODCO Onshore Limited

INPEX



- 当社権益比率: 5%
(オペレーター: ADCO*)

- 生産量

・原油: 日量約160万バレル

- 利権契約: 2054年まで

- 2015年4月、アブダビ首長国政府及びADNOCと利権契約を締結し、権益取得

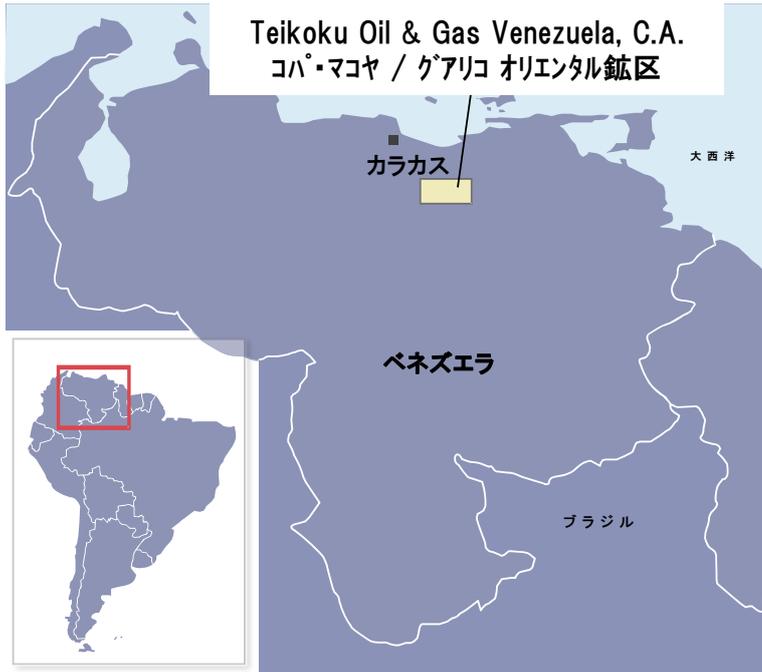
- 生産量を日量約180万バレルに引き上げるべく開発作業を実施中

*権益保有者が株主である操業会社。JODCO Onshore Limitedから5%を出資。

ベネズエラ プロジェクト

Teikoku Oil & Gas Venezuela, C.A.ほか

INPEX



- コパ・マコヤ (ガス事業)/
グアリコ オリエンタル 鉱区(原油事業)
- ジョイントベンチャー出資比率
 - ・ ガス事業:70%、原油事業:30%
 - ジョイントベンチャー契約
 - ・ 2006-2026年
 - 生産量*
 - ・ 原油: 日量約1千バレル
 - ・ 天然ガス**: 日量約84百万立方フィート

* 全鉱区ベース、2017年3月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

36

ブラジル プロジェクト

フラージ鉱区ほか

INPEX



- フラージ鉱区(Frاده Japão Petr óleo Limitada (FJPL))
- 権益比率: FJPL*18.3% (オペレーター: Chevron)
 - *持分法適用関連会社(当社はFJPLの37.5%の株式を保有)
 - 生産量**:
 - ・ 原油: 日量約2.0万バレル
 - ・ 天然ガス***: 日量約1百万立方フィート
 - コンセッション契約: 2025年まで

BM-ES-23 鉱区

- 当社権益比率: 15%
- 探鉱(評価)作業中

** 全鉱区ベース、2017年3月平均日産量

*** 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

37

カナダ シェールガスプロジェクト

INPEX Gas British Columbia Ltd.

INPEX



38

フラクチャリング作業現場

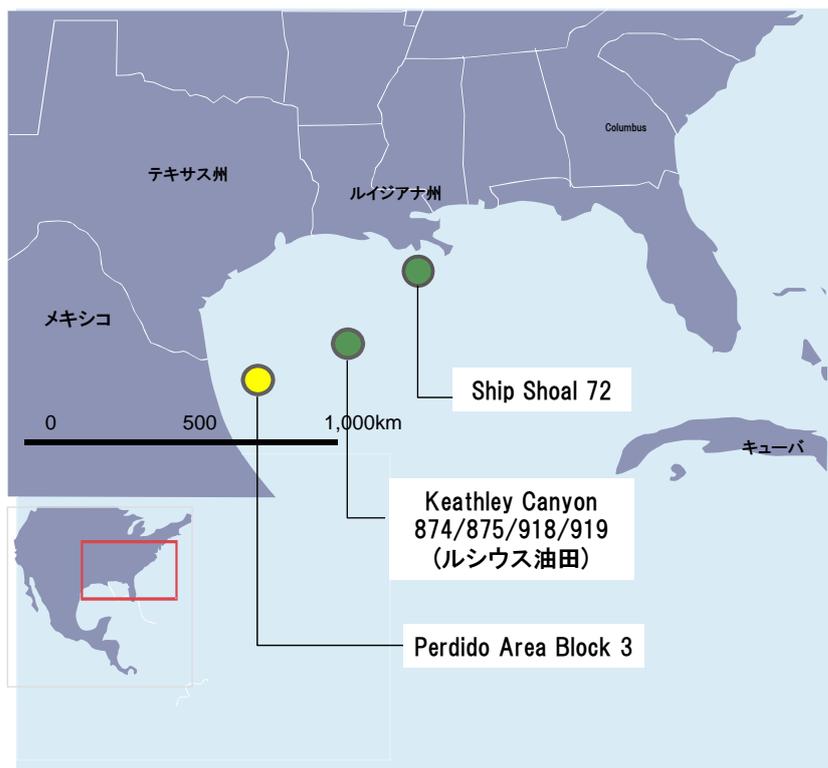
- 権益比率:40%* (オペレーター:Nexen)
 - * INPEX Gas British Columbia Ltd. (出資比率:当社45.09%、JOGMEC44.89%、日揮(株)のカナダ法人子会社 10.02%)の権益比率。
- 生産量**
 - 天然ガス***: 日量約79百万立方フィート
- コンセッション契約

** 全鉱区ベース、2016年平均日産量

*** 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

メキシコ湾周辺 プロジェクト

Teikoku Oil (North America) Co., Ltd. / INPEX E&P Mexico, S.A. de C.V. **INPEX**



浅海海域鉱区

(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- コンセッション契約
- 当社権益比率
 - Ship Shoal 72 : 25%

ルシウス油田

(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- コンセッション契約
- 当社権益比率:7.75309% (オペレーター: Anadarko)
- 2015年1月 原油及び天然ガスの生産開始
- 生産量*
 - 原油: 日量約4.8万バレル
 - 天然ガス**: 日量約53百万立方フィート

メキシコ領メキシコ湾北部海域 Block3鉱区

(INPEX E&P Mexico, S.A. de C.V.)

- ライセンス契約
- 当社権益比率: 33.3333% (オペレーター: Chevron)
- 2017年2月28日にライセンス契約へ調印、現在探鉱計画の策定作業中

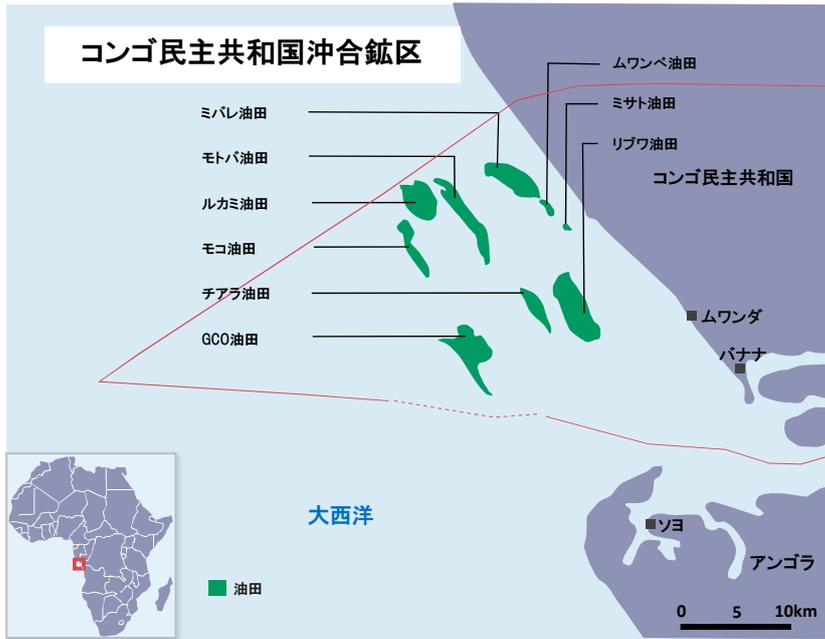
*全鉱区ベース、2017年3月平均日産量

** 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

39

コンゴ民主共和国沖合鉱区 帝石コンゴ石油

INPEX

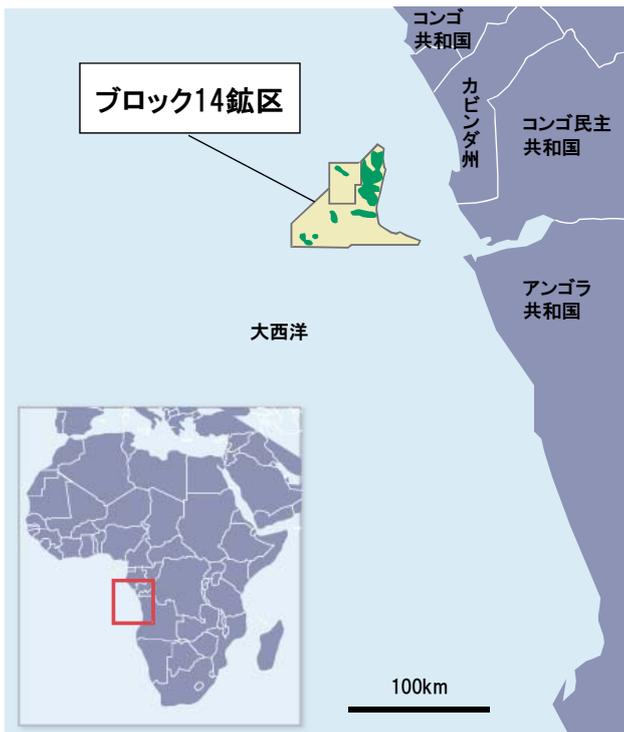


- 当社権益比率:32.28%
(オペレーター:ペレンコ)
- コンセッション契約(1969-2023年)
- 生産開始:1975年
- 生産量*: 日量約1.2万バレル

* 全鉱区ベース、2017年3月平均日産量

アンゴラ共和国沖合ブロック14鉱区 INPEX Angola Block 14 Ltd.

INPEX



- 当社権益比率:9.99%(オペレーター:
Chevron)
- 生産量*: 日量約9.8万バレル
- PS契約: 2035年まで

* 全鉱区ベース、2017年3月平均日産量

主要会社一覧及び石油契約①*

会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
日本					
・国際石油開発帝石	南長岡ガス田ほか**	日本	コンセッション	-	生産中
アジア/オセアニア					
・国際石油開発帝石	マハカム沖鉱区	インドネシア	PS	-	生産中
・インペックス南マカッサル石油	セブク鉱区(ルビーガス田)	インドネシア	PS	100%	生産中
・MI Berau B.V.	ベラウ鉱区(タンゲーLNG)	インドネシア	PS	44%	生産中
・インペックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉱区(アパディLNG)**	インドネシア	PS	51.9%	開発準備作業中
・サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	PS	100%	生産中
・INPEX Browse E&P Pty Ltd	WA-285-P**ほか	オーストラリア	コンセッション	100%	探鉱作業中
・INPEX Ichthys Pty Ltd	WA-50-L及びWA-51-L(イクシス)**	オーストラリア	コンセッション	100%	開発中
・Ichthys LNG Pty Ltd	イクシスプロジェクト下流事業**	オーストラリア	-	62.245%	開発中
・INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	プレリユードFLNGプロジェクト	オーストラリア	コンセッション	100%	開発中
・アルファ石油	ヴァンゴッホ油田/ヨニストンユニット	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中
・アルファ石油	ラベンスワース油田	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中

注: * 2017年3月末時点
 ** オペレータープロジェクト

44

主要会社一覧及び石油契約②*

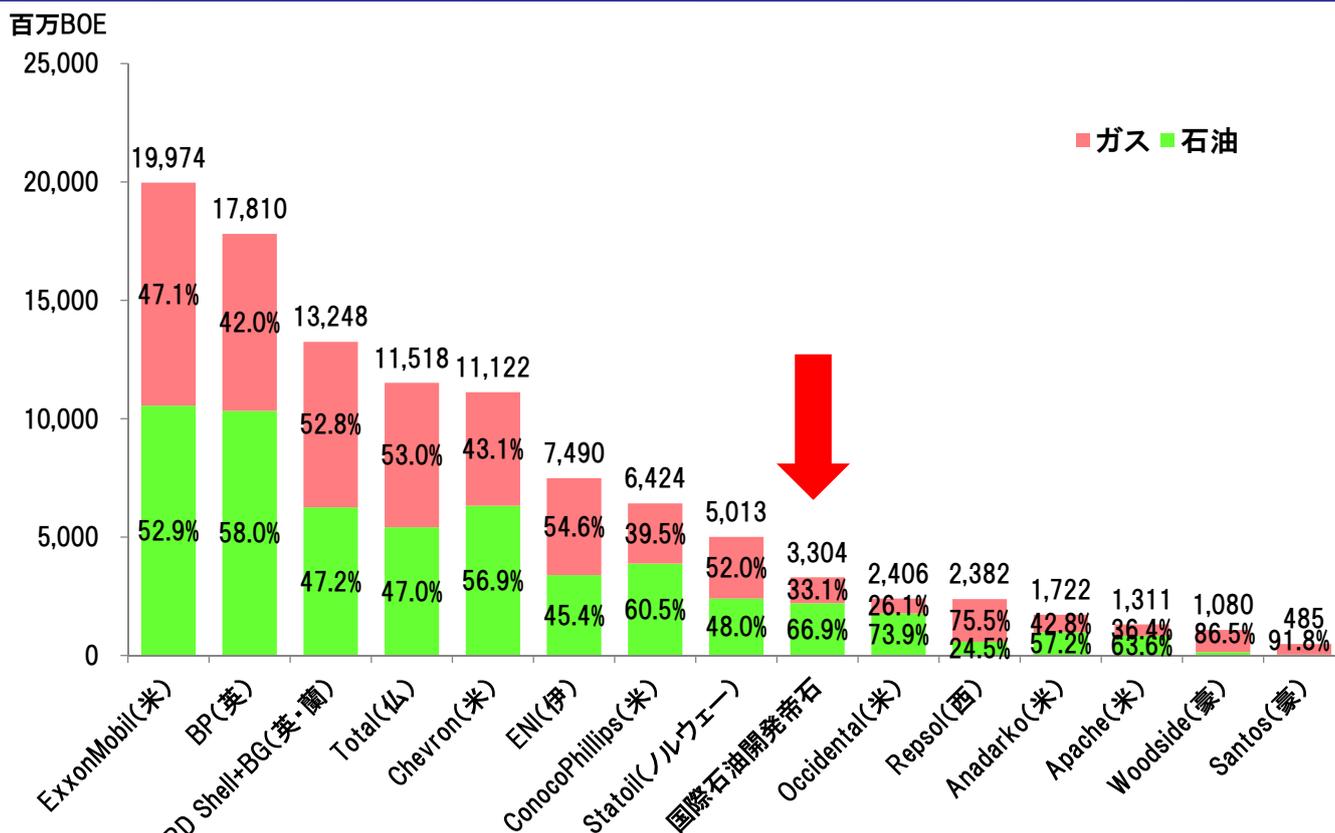
会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
ユーラシア					
・インペックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	PS	51%	生産中
・インペックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	PS	45%	生産中
中東					
・ジャパン石油開発	ADMA鉱区(アッパーザクム油田等)	アラブ首長国連邦	コンセッション	100%	生産中
・JODCO Onshore Limited	ADCO鉱区	アラブ首長国連邦	コンセッション	51%	生産中
アフリカ					
・帝石コンゴ石油	コンゴ民主共和国沖合鉱区	コンゴ民主共和国	コンセッション	100%	生産中
・INPEX Angola Block14	アンゴラ共和国沖合ブロック14鉱区	アンゴラ共和国	PS	100%	生産中
米州					
・INPEX Gas British Columbia	カナダ シェールガスプロジェクト	カナダ	コンセッション	45.09%	生産中/評価中
・Teikoku Oil & Gas Venezuela	コパ・マコヤ**/グアリコオリエンタル	ベネズエラ	ジョイントベンチャー	100%	生産中
・Teikoku Oil (North America)	ルシウス油田/SS72鉱区	米国	コンセッション	100%	生産中
・Frade Jap ã o Petr3leo Limitada	フラージ鉱区	ブラジル	コンセッション	37.5%***	生産中

注: * 2017年3月末時点
 ** オペレータープロジェクト
 *** インペックス北カンボス沖石油(当社の持分法適用関連会社)の子会社。出資比率(37.5%)は同社を通じた当社の実質的な比率。

45

その他

メジャー・主要な独立系石油ガス会社との
確認埋蔵量の比較



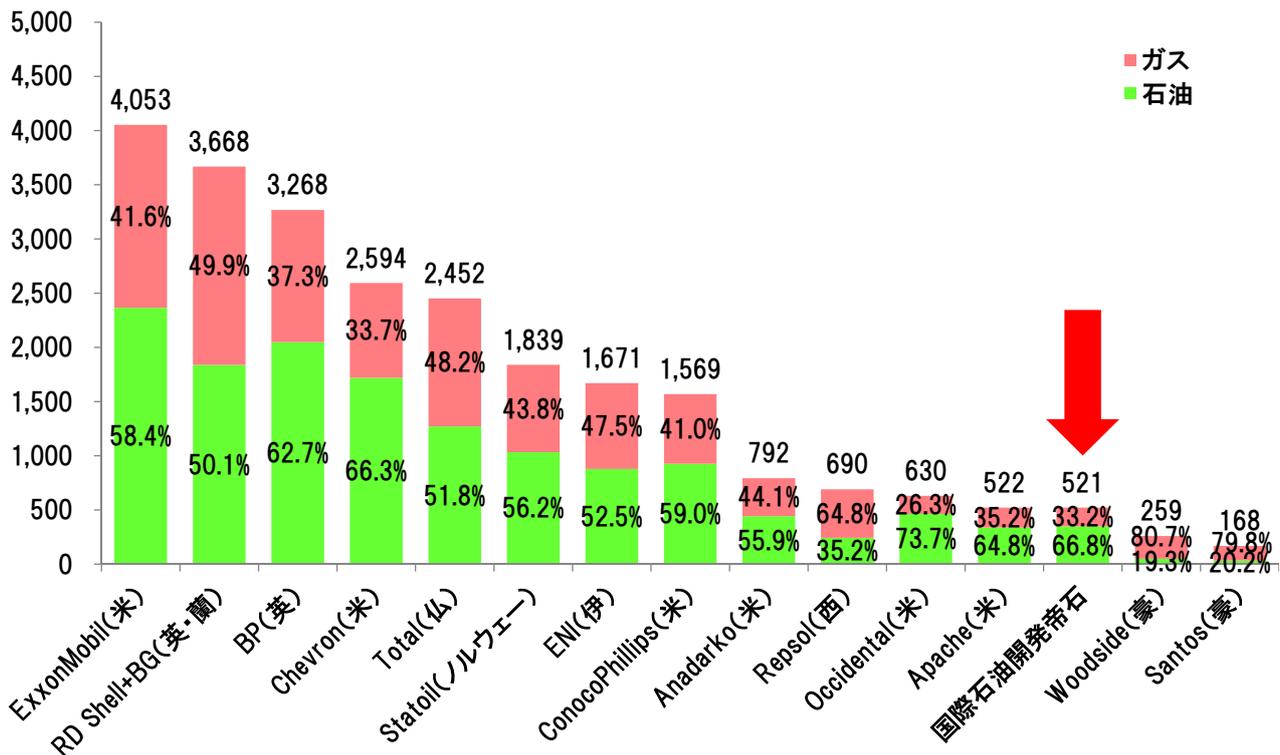
出所：直近の各社公表財務情報

注：各社2016年12月末時点であるが、当社は2017年3月末時点の米国証券取引委員会(SEC)規則に従った値(暫定値)。埋蔵量は、持分法適用会社を含む当社グループの主要なプロジェクトを対象とし、今後の開発投資が巨額であり、将来の業績への影響が大きいと考えられるプロジェクトについては、DeGolyer& MacNaughton社にて、その他については自社にて、評価・算定している。石油にはピチューメン、合成原油等非在来型資源を含む。比較企業として産油国営企業は除外している。

メジャー・主要な独立系石油ガス会社との 生産量の比較

INPEX

千BOE/d



出所：直近の各社公表財務情報

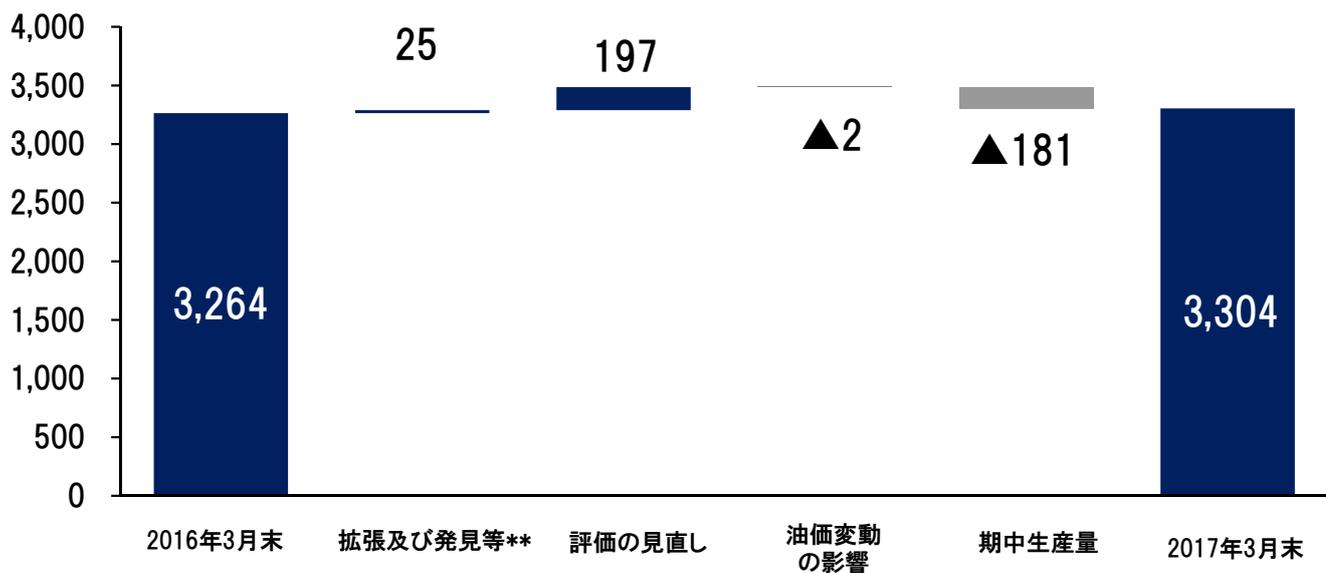
注：各社2016年12月期であるが、当社は2017年3月期の米国証券取引委員会(SEC) 規則に従った数値。石油にはビチューメン、合成原油等、非在来型資源を含む。持分法適用会社の持分を含む。比較企業として産油国国営企業は除外している。

48

確認埋蔵量*の推移の要因分析

INPEX

(百万BOE)



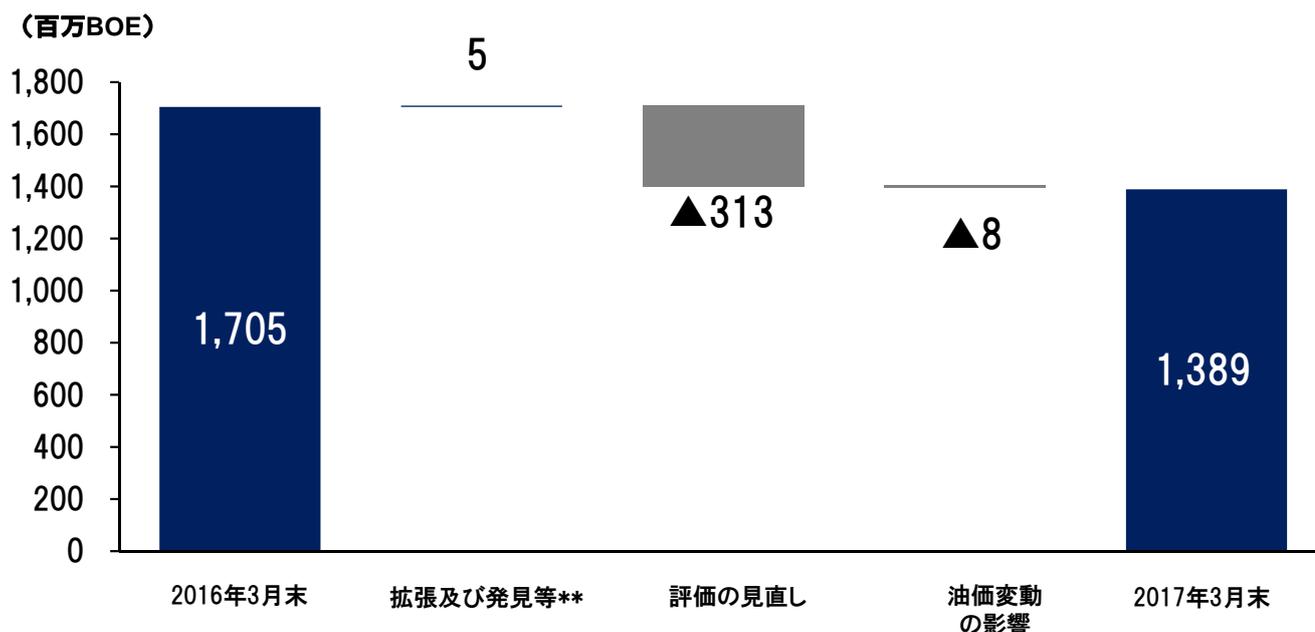
* 確認埋蔵量の定義は、51ページに記載しております。

** 買収及び売却等を含む。

49

推定埋蔵量*の推移の要因分析

INPEX



* 推定埋蔵量の定義は、52ページに記載しております。

** 買収及び売却等を含む。

50

確認埋蔵量の定義

INPEX

- 確認埋蔵量(proved reserves)の定義は、米国証券取引委員会規則 S-X Rule 4-10に従っており、地質的・工学的データに基づき、現在の経済条件及び操業条件の下で、契約期限までの間に合理的な確実性をもって回収することが可能である石油・ガスの数量(estimated quantities)とされております
- 確認埋蔵量に分類されるためには、炭化水素を採取するプロジェクトが開始されているか、妥当な期間内にプロジェクトを開始する合理的な確実性がなければならず、石油・ガス業界で用いられる埋蔵量の定義の中でも保守的な数値として広く認識されております
- 確率論的手法を用いて確認埋蔵量を算定する場合には、確認埋蔵量(1P)を回収できる確率が90%以上であることが必要とされています
- また、米国証券取引委員会規則の定義による確認埋蔵量は、既存の坑井、施設及び操業方法を利用して回収することができる確認開発埋蔵量(proved developed)と将来掘削される坑井を利用して回収することができる確認未開発埋蔵量(proved undeveloped)の二つに区分されております

51

- 推定埋蔵量(probable reserves)及び予想埋蔵量(possible reserves)の定義は、石油技術者協会(SPE)が世界石油会議(WPC)・米国石油地質技術者協会(AAPG)・石油評価技術者協会(SPEE)の支援の下に策定した基準(2007PRMS)に従っており、地質的・工学的データに基づき、確認埋蔵量に追加して商業的に回収することが可能と推定される石油・ガスの数量とされており、回収可能性の高さによって推定埋蔵量あるいは予想埋蔵量に分類されます
- 確率論的手法を用いて推定埋蔵量を算定する場合には、確認埋蔵量と推定埋蔵量を合計した数量(2P)を回収できる確率が50%以上であることが必要とされています
- 同じく予想埋蔵量を算定する場合には、確認埋蔵量、推定埋蔵量及び予想埋蔵量を合計した数量(3P)を回収できる確率が10%以上であることが必要とされています

※推定埋蔵量及び予想埋蔵量の全量が確認埋蔵量と同様な確実性をもって開発・生産されると見込まれるわけではありません

52

中長期ビジョン*

3つの成長目標と重点的取り組み

1. 上流事業の持続的拡大
→2020年代前半にネット生産量日量100万バレル
2. ガスサプライチェーンの強化
→2020年代前半に国内ガス供給量25億m³
3. 再生可能エネルギーへの取り組み強化
→研究開発、事業化への取り組み

3つの基盤整備と目指す企業像

1. 人材の確保、育成と効率的な組織体制の整備
2. 成長のための投資と適切な株主還元
3. グローバル企業としての責任ある経営

* 2012年5月発表

総額約3.5兆円

イクシス、アバディ、その他探鉱開発プロジェクト等に対する
イクシス生産開始までの当面5年間*の投資額

手元資金

- 手元活用可能資金6,630億円
(2017年3月末現在)

キャッシュフロー

- 毎年の営業キャッシュ・フロー
(参考：2017年3月期実績 2,758億円)
- 手元の現金及び現金同等物

銀行借入

- JBIC**及び市中銀行からの借入
- 市中銀行借入の一部に対するJOGMEC***による保証
- プロジェクト・ファイナンス

* 2013年3月期～2017年3月期の5年間

** JBIC： 国際協力銀行

*** JOGMEC： 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

財務戦略

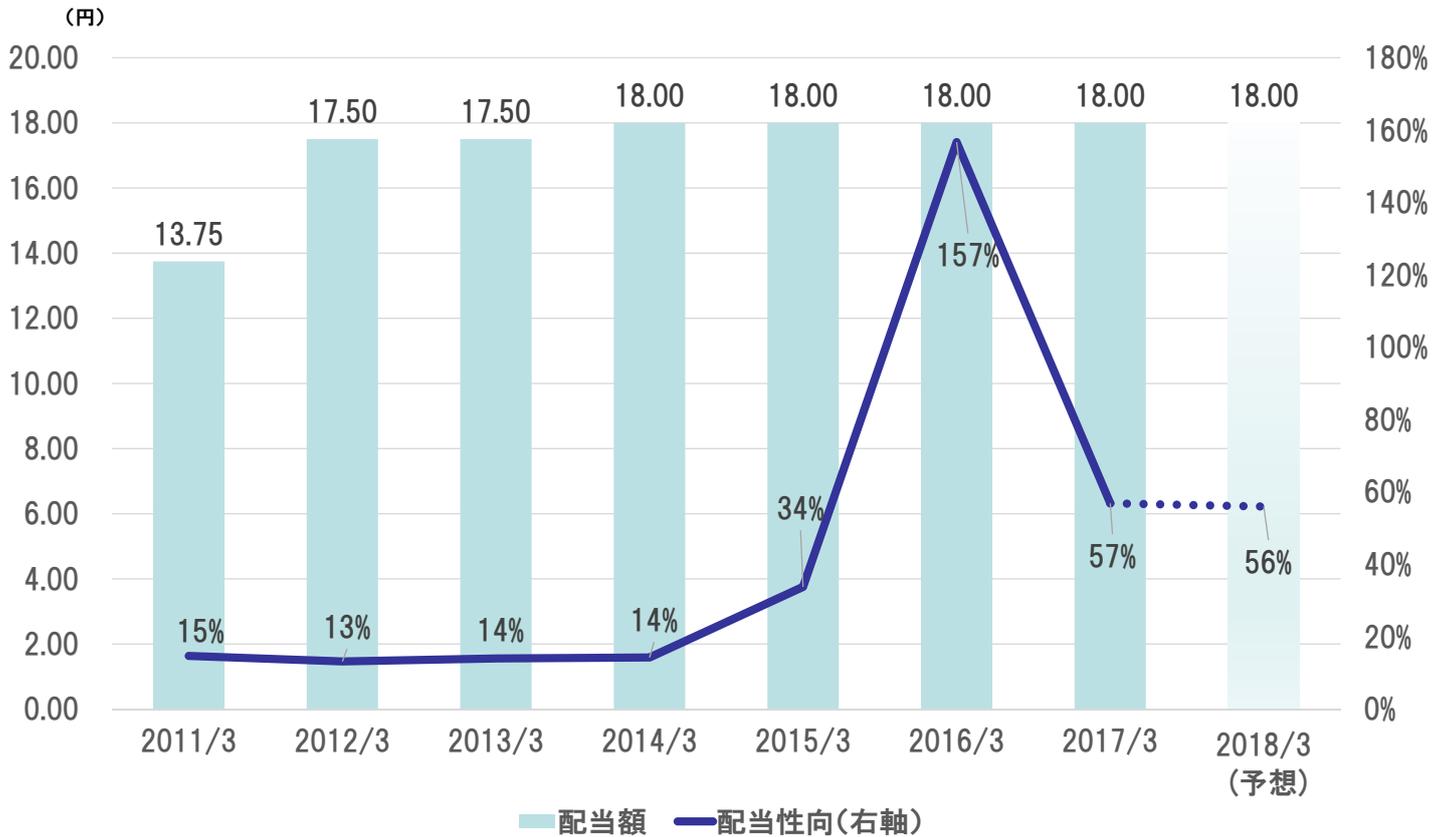
低コストでの有利な資金調達

健全なバランス・シートを維持し、
資金調達の安定性と柔軟性を確保

JBIC及びJOGMECの制度金融の
活用により開発資金を調達

- イクシス、アバディ等に必要な投資を確実にするための資金調達力を維持
- 将来の新規プロジェクトへの継続的な投資を実現するために、健全なバランス・シートを維持
- 長期的財務レバレッジ水準(目標値)
 - 自己資本比率:50%以上
 - 使用総資本に対する純有利子負債の比率:20%以下

当社の一株当たり年間配当額、配当性向の推移 INPEX



CSRトピックス INPEX

✓ 6つのCSR重点テーマを中心に、事業を通じた取り組みを推進

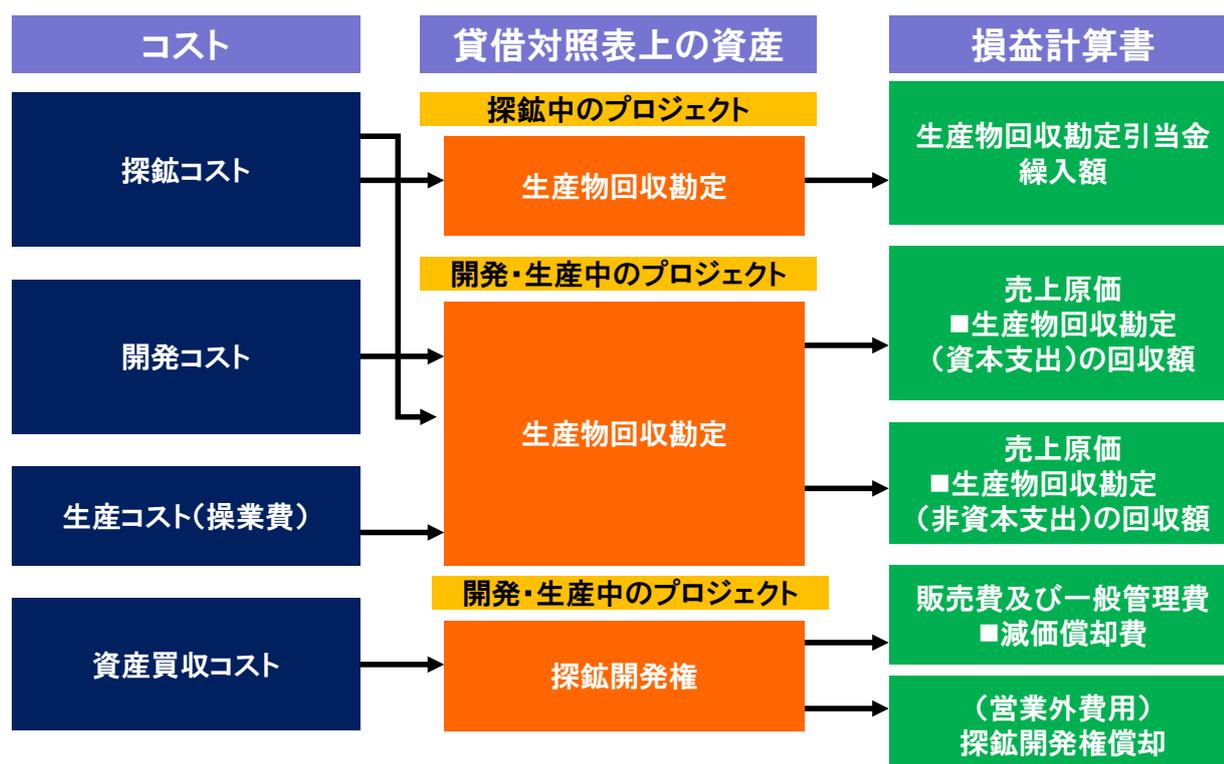
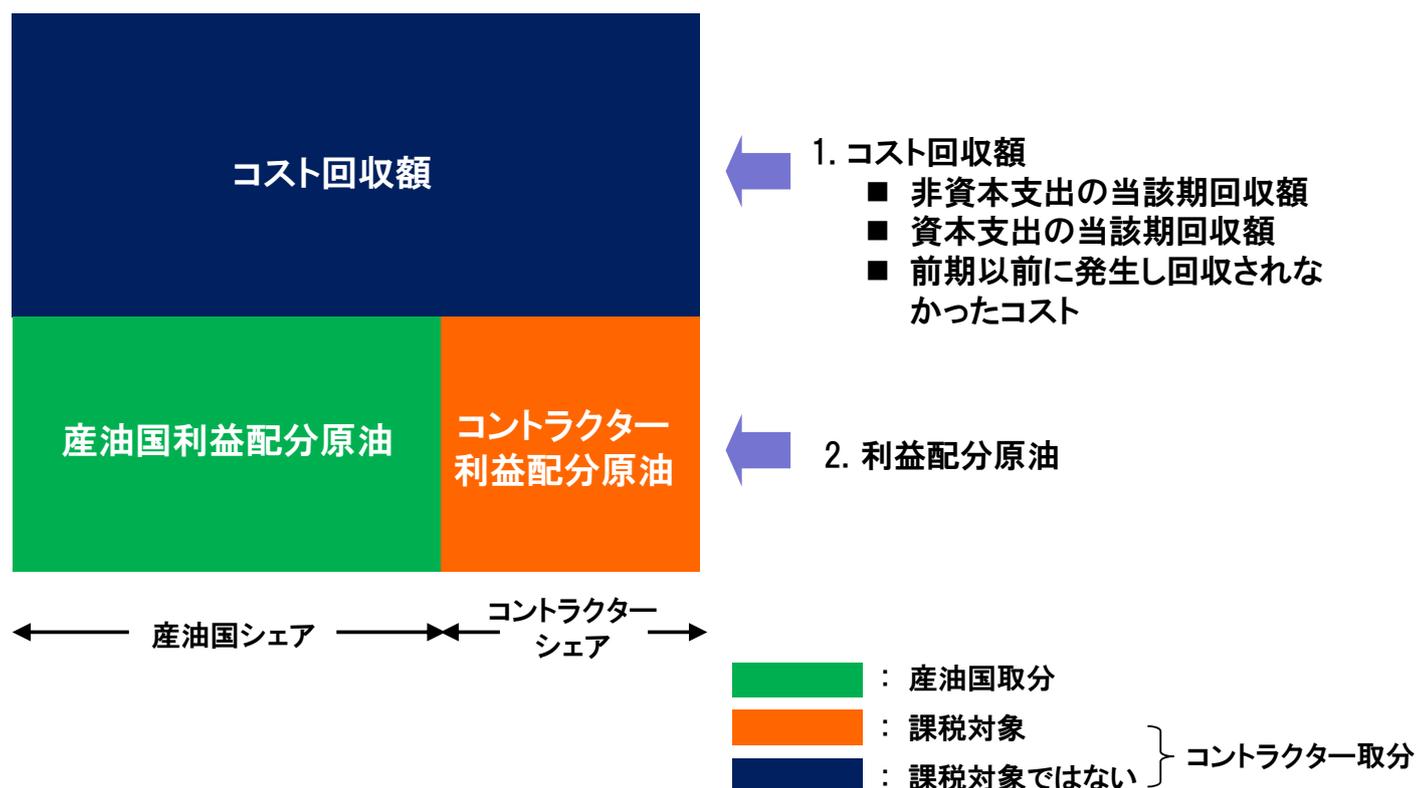
＜CSR重点テーマ＞

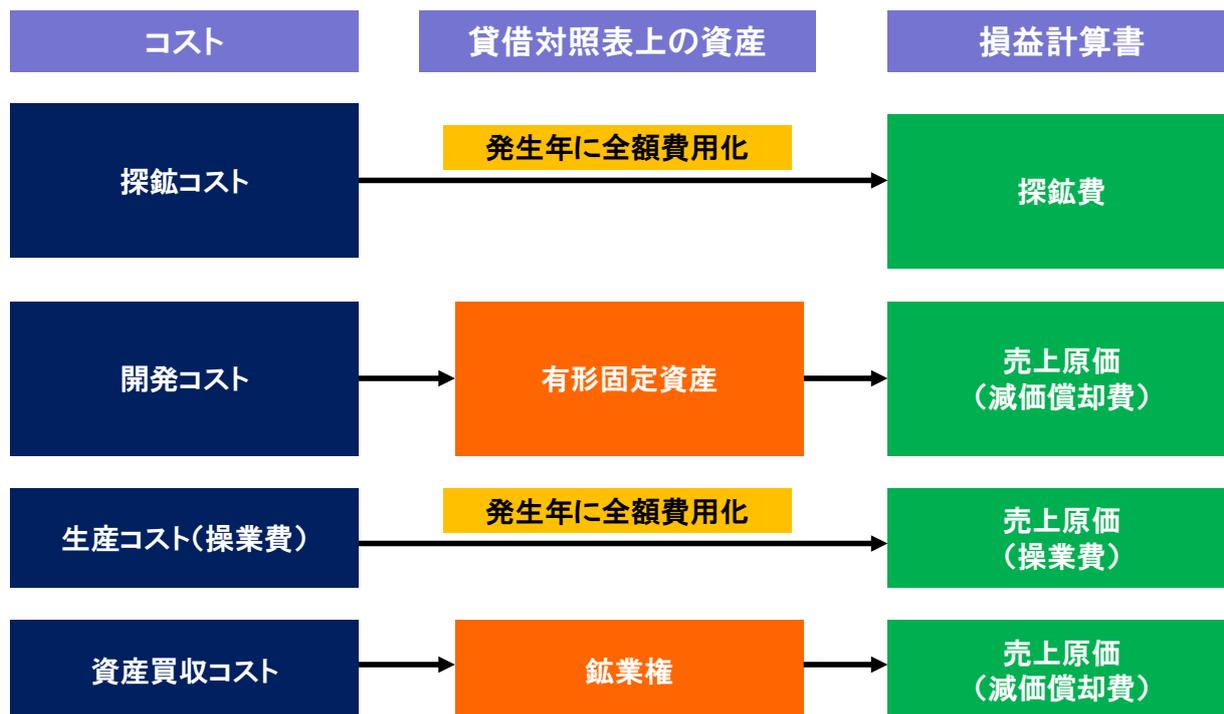
- | | |
|---|---|
| <p>ガバナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ガバナンス体制の構築 適切な情報開示と透明性の向上 リスクマネジメント体制の構築 | <p>コンプライアンス</p> <ul style="list-style-type: none"> 法令及び社会規範の遵守 贈収賄・汚職防止 人権の尊重 |
| <p>HSE</p> <ul style="list-style-type: none"> 操業における安全管理 重大事故防止 環境負荷の低減 生物多様性の保全 | <p>地域社会</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域社会に対する影響評価・低減策の実施 地域経済への貢献 先住民への配慮 |
| <p>気候変動対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガスの管理 再生可能エネルギー事業の推進 新技術の研究・開発 | <p>従業員</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル人材の育成 ダイバーシティの推進 働きやすい職場環境の整備 |

自社サプライチェーンにおける奴隷労働や人身取引の防止に関する方針や体制及び具体的な取り組み事例などを纏めた英国現代奴隷法ステートメントを2016年9月26日開示

＜外部機関からの評価及び主要SRIインデックスへの組入れ状況＞

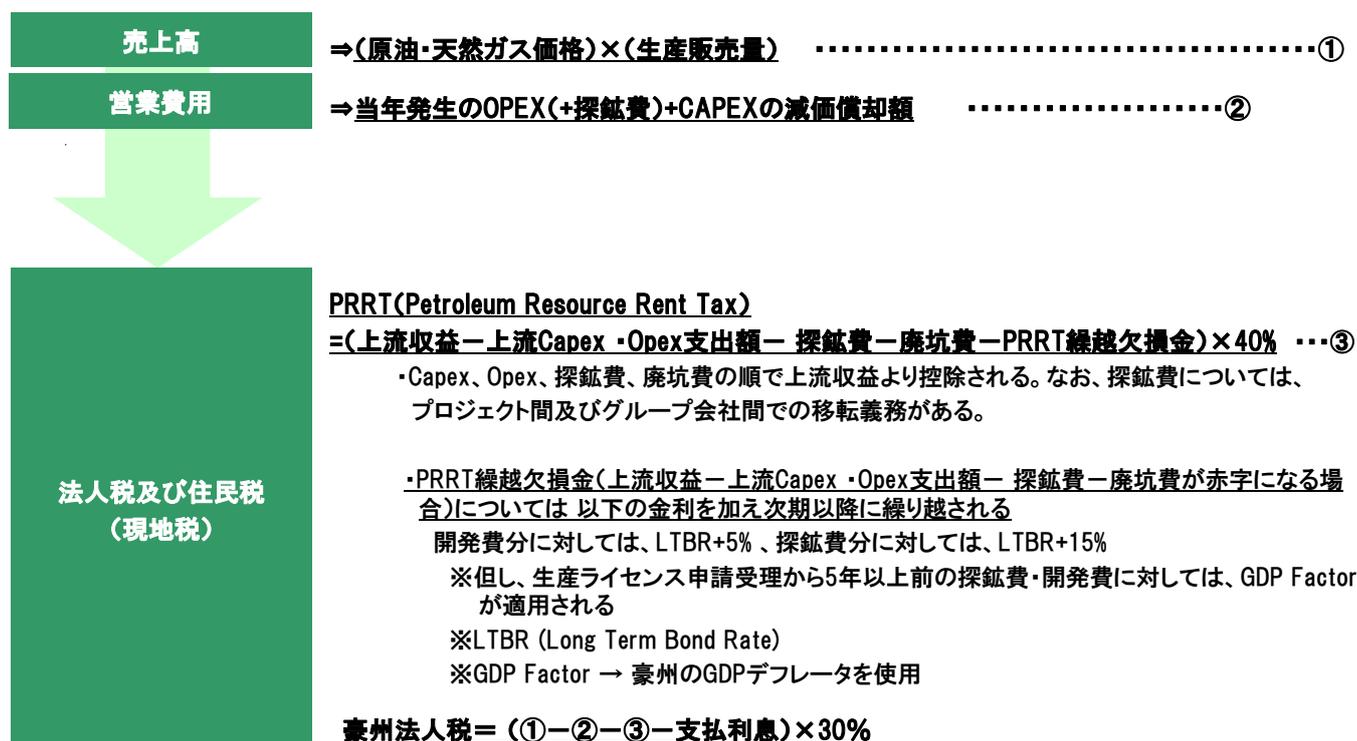
Dow Jones Sustainability World Index	当社は米国のS&P Dow Jones社と、スイスのRobecoSAM社が選定する社会的責任投資の代表的指数の一つである「Dow Jones Sustainability World Index (DJSI World)」に採用されています。
FTSE4Good Global/Japan Index	当社はFTSE Russell社が選定するFTSE4Goodインデックスシリーズのうち、Global IndexとJapan Indexに選定されています。
CDP	当社は、CDPIによる温室効果ガスの排出や気候変動問題に関する調査において、リーダーシップレベルに相当するA-の評価を獲得しています。なお、当社は2013年および2014年に、気候変動に関する情報開示に優れた企業としてClimate Disclosure Leadership Index (CDLI)に選定されています。
モーニングスター 社会的責任投資株価指数 (MS-SRI)	当社は、モーニングスター社が提供する国内初の社会的責任投資株価指数である「モーニングスター社会的責任投資株価指数 (MS-SRI)」の構成銘柄に5年連続で選定されています。
MSCI Global Sustainability Indexes	当社は米国のMSCI (Morgan Stanley Capital Investment) 社が開発した、ESG面で優れた企業を選定する代表的な株価指数の一つであるMSCIのGlobal Sustainability Indexesに選定されています。
ECPI Ethical Index Global	投資運用助言会社であるECPI社が提供するインデックスシリーズのうち、ECPI Global Carbon Equity Index、ECPI Global Megatrend Equity Index及びECPI World ESG Equity Indexに選定されています。





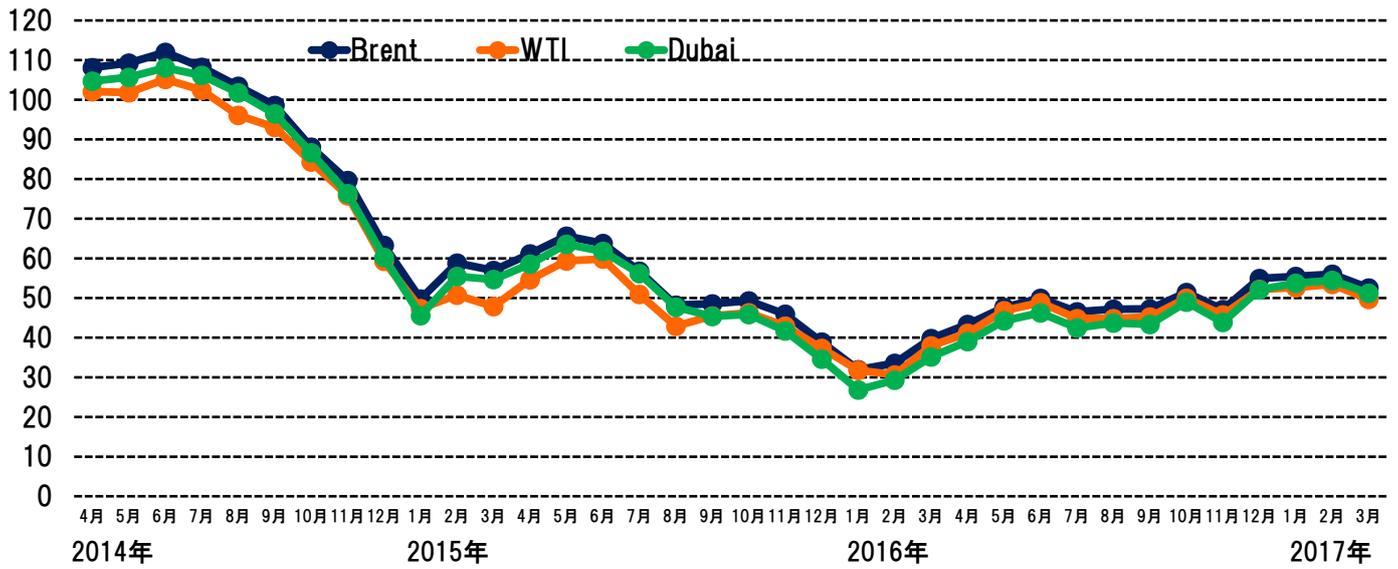
豪州税制の概要

※ 本スライドの記載内容については、今後税制の改正等に伴い変更の可能性があります。



油価の推移

(US\$/bbl)



	2016年3月期 平均	2016年												2017年			2017年3月期 平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
Brent	48.73	43.34	47.65	49.93	46.53	47.16	47.24	51.39	47.08	54.92	55.45	56.00	52.54	49.88			
WTI	45.00	41.12	46.80	48.85	44.80	44.80	45.23	49.94	45.76	52.17	52.61	53.46	49.67	47.93			
Dubai	45.54	39.03	44.27	46.26	42.46	43.70	43.33	48.98	43.86	52.10	53.72	54.44	51.20	46.95			